



主要企業の選考ケース集

CASE & TREND

トレンドリーダー59社の選考

2024卒版

STUDENTS'REPORT 別冊

本誌について

本誌の概要と特徴、ご活用イメージについてご紹介します。

1

オンライン・コンサルティングサービス 「STUDENTS' REPORT」の一部です

- ✓ 「STUDENTS' REPORT」は**新卒採用専門・年間45万円**で利用できるオンライン・コンサルティングサービスです
- ✓ 毎週届く採用動向とアドバイス/メール相談/WEBミーティング/市場総括レポートがパッケージされています
- ✓ 本誌は、「**市場総括レポート**」です

25卒の選考プロセス設計/市場動向の 予測に、お役立てください

- ✓ 25卒の**選考プロセス設計の参考資料**としてお使いいただけます
- ✓ **25卒の選考時期に、お手元において競合の動向予測**にご活用ください
- ✓ 多くの企業は前年と同様のステップで推移するため、前年データを用いておおよその動向が予測できます

3

2

メインコンテンツ

日系大手企業の24卒 選考ケース集です

- ✓ 日系大手企業の「**24卒選考プロセス**」を網羅しています
- ✓ 各社の選考実態を解明。**業界横断的に俯瞰**できます
- ✓ リクルーターなどの実質的な選考、インターンなどを經由する**特別ルート**の選考も可能な限り記載しました
- ✓ **多様な選考プロセスの「トレンド」「勝ち筋」**を学べます
→ 掲載企業はP.3をご覧ください

情報ソースは「学生レビュー」から毎日届く 生の声です

- ✓ **直接契約の学生レビュー**が就活の結果を投稿、情報は責任をもって**実名で投稿**されています
- ✓ 投稿内容をリサーチャーが**真偽確認した後、個人特定につながる情報を削除**して公開しています
- ✓ 本誌は、このデータベースから情報を抽出。再編集したレポートです

4

目次

本誌について1
24卒選考ケース 掲載企業一覧3
掲載情報について4
<24卒選考ケース集>	
選考ケースページの見方(凡例)5
商社6
金融14
メーカー26
サービス40

24卒選考ケース 掲載企業一覧

【商社】

三菱商事	…8
三井物産	…8
伊藤忠商事	…9
住友商事	…9
丸紅	…10
双日	…11
豊田通商	…11
メタルワン	…12

【金融】

日本銀行	…16
国際協力銀行	…16
日本政策投資銀行	…17
農林中央金庫	…17
三菱UFJ銀行	…18
三井住友銀行	…19
みずほ銀行	…19
三菱UFJ信託銀行	…20
三井住友信託銀行	…20
東京海上日動	…21
日本生命	…21
野村証券	…22
みずほ証券	…23
SMBC日興証券	…24
三井住友カード	…24

【メーカー】

日本製鉄	…28
住友化学	…28
東レ	…29
旭化成グループ	…29
AGC	…30
富士フイルム	…31
三菱重工	…32
川崎重工	…33
INPEX	…33
鹿島	…34
清水建設	…34
トヨタ自動車	…35
本田技研工業	…35
日立製作所	…36
パナソニックグループ	…36
ソニー	…37
富士通	…37
サントリーホールディングス	…38
味の素	…39
花王	…39

【サービス】

電通	…42
博報堂*	…42
三菱地所	…43
三井不動産	…43
東急不動産	…44
JR東海	…45
JR東日本	…45
日本郵船	…46
商船三井	…46
ANA	…47
電源開発	…48
東京電力	…48
東京ガス	…49
NTT東日本	…49
NTTデータ	…50
野村総研	…50

*正式名称:
「博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ」

掲載情報について

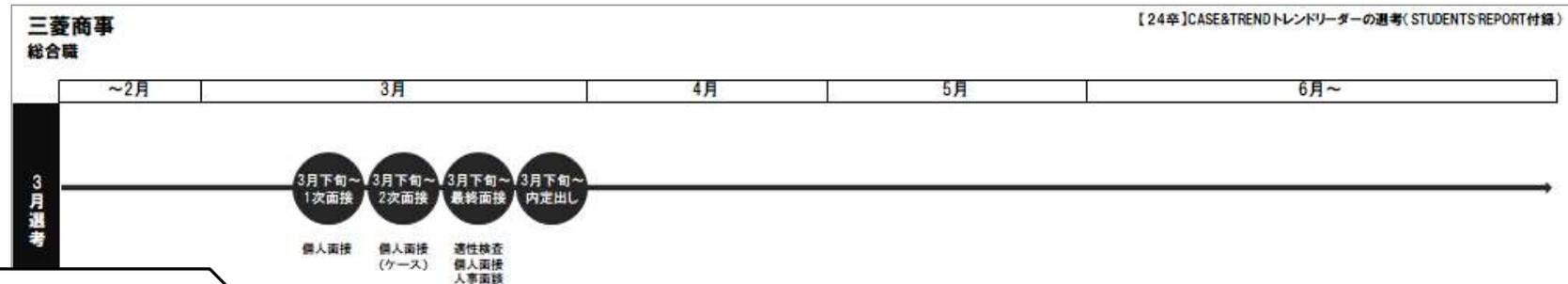
本誌に掲載している情報は以下の2種です。①と②は併せてお読みください。
資料についてのお問合せ・ご相談にも対応しています。

メインコンテンツ

1

トレンドリーダーの 24卒選考ケース集

- ✓ 事務系総合職(一部専門職)の主な選考ステップ



→P.8-

2

担当リサーチャーによる 業界動向の解説

- ✓ 業界別のトレンドを「ブランドポジション」「スケジュール」「選考プロセス・手法」の3つの切り口で、リサーチャーが解説

→P.6, 14, 26, 40

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- ※引き続き他業界のトップ企業と併願されるポジション。昨今の学生の企業選択基準である「就活偏差値」以上に書籍、政府系金融との競合は以前より強い。
- ※コロナ禍・売り手市場傾向を受けてか学生の就活意識がアップしており「なんとなか(商社)」という選択パターンに復活の兆しがある。
- ※「選考選考で先行する他社の内定を得て(当初は志望していた)商社の受験を断念する」ケースが少なくない。その一方、非常に早い段階でコンサルや外資系企業に内定した学生が「入社を志望固めできなかったこと、(当初は志望していなかった)商社の受験を再検討するに至る」パターンが見られる。
- ※トップ学生の商社志望は三大商社(三菱商事・三井物産・伊藤忠商事)に集中。「二大商社+伊藤忠」という言い方をしている学生もいる。「三井物産のみ他の2社との競合が強い(重複内定者の知人を見かけない)」という声も。
- ※「体育会で種キャでない(商社には)入社できない」という固定観念が広まっている懸念がある。
- ※「EtoCビジネス/マーケティング」を志望する商社受験者が増加傾向。かつてはEtoCと言えば伊藤忠。次いで住友商事をあげる学生が多かったが、現在はイメージが分散。
- ※学生の中で「ビッグスクールなEtoCビジネス」のブランドパワーが全般的に低下しており、そのことは商社ブランドに対しても強くマイナスに働いている。
- ※丸紅が「新卒採用数の男女比1:1」を目標するなど、商社側のアピールも変化して、女子学生が以前よりカジュアルに商社志望ははじめている。

●スケジュール

- ※三菱商事と住友商事が明示的に3月選考を導入。
- 5大商社は、3月選考と6月選考の2ブロック制に収められてきている。
- 三菱商事以外は、3月選考はインターン参加者中心に案内される。

さらに詳しい情報を提供します (WEBミーティング)



- ◆ 未掲載情報を含めた詳細の解説、自社の採用への活かし方をリサーチャーがご助言します

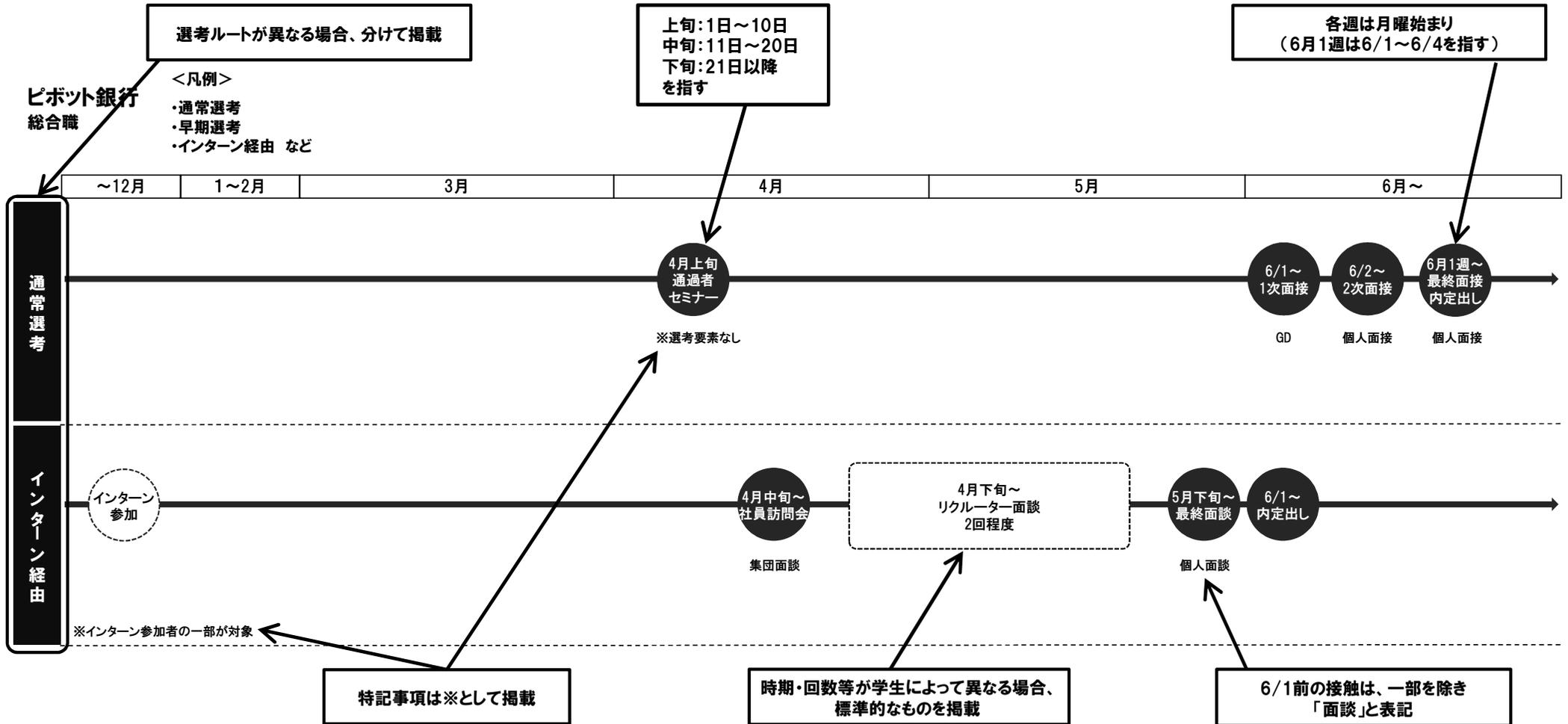
- ◆ 担当:株式会社ピボット シニアコンサルタント 豊崎まで

☎ 050-3649-7671(代表)
080-3361-8481(直通)

✉ support@pivot-inc.co.jp

🌐 <https://www.pivot-inc.co.jp/>

選考ケースページの見方(凡例)



商社

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 引き続き他業界のトップ企業と併願されるポジション。昨今の学生の企業選択基準である「就活偏差値」上位に君臨。政府系金融との競合は以前より弱い。
- * コロナ禍・売り手市場傾向を受けてか学生の就活意識がフワツとしており「なんとなく商社」という選択パターンに復活の兆しがある。
- * 「選考進捗で先行する他社の内定を得て(当初は志望していた)商社の受験を断念する」ケースが少なくない。
その一方、非常に早い段階でコンサルや外資系企業に内定した学生が「入社
の意志を固めきれなかったことで、(当初は志望していなかった)商社の受験を
再検討するに至る」パターンが見られる。
- * トップ学生の商社志望は三大商社(三菱商事・三井物産・伊藤忠商事)に集中。
「二大商社+伊藤忠」という言い方をする学生もいる。
「三井物産のみ他の2社との競合が弱い(重複内定者の知人を見かけない)」と
いう声も。
- * 「体育会で陽キャでないと(商社には)入社できない」という固定観念が広まって
いる懸念がある。
- * 「BtoCビジネス/マーケティング」を志望する商社受験者が増加傾向。
かつてはBtoCと言えば伊藤忠、次いで住友商事をあげる学生が多かったが、
現在はイメージが分散。
- * 学生の中で「ビッグスケールなBtoBビジネス」のブランドパワーが全般的に低下
しており、そのことは商社ブランドに対しても強くマイナスに働いている。
- * 丸紅が「新卒採用数の男女比1:1」を標榜するなど、商社側のアピールも奏功し
てか、女子学生が以前よりカジュアルに商社を志望しはじめている。

●スケジュール

- * 三菱商事と住友商事が明示的に3月選考を導入。
5大商社は、3月選考と6月選考の2ブロック制に収れんしてきている。
三菱商事以外は、3月選考はインターン参加者中心に案内される。

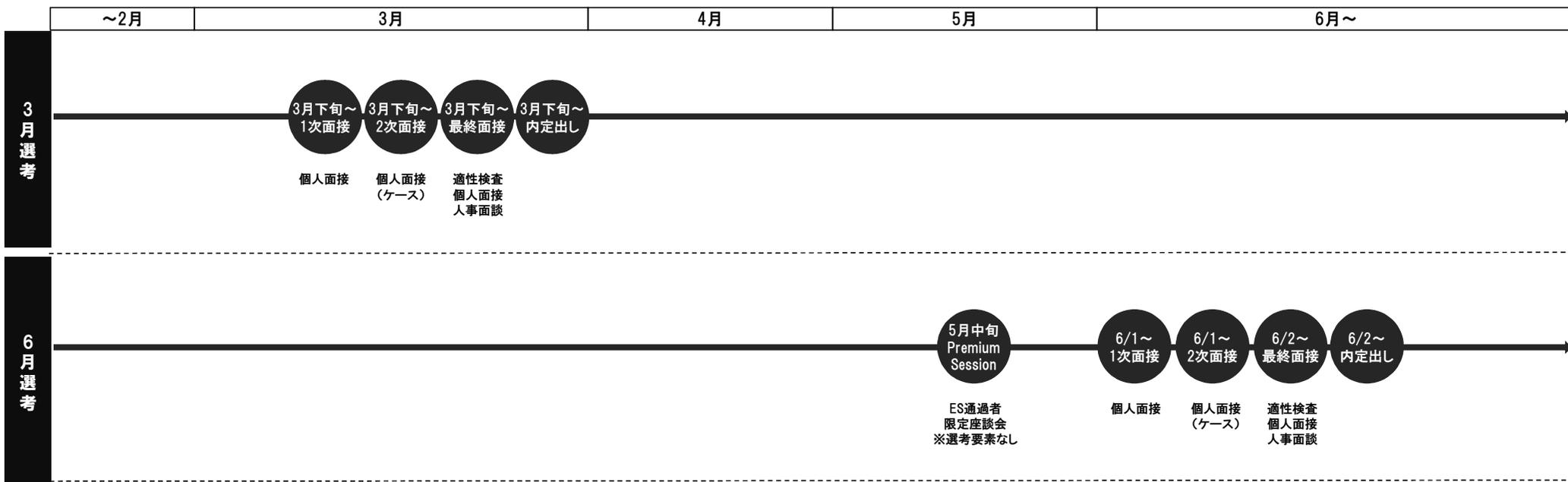
- * 23卒は一部の選考が年明けに始まるなどしていたが、それらは3月選考へまと
まっていた。6月に内定を出すコースについては、選考のスタートを遅らせる
(3月開始→4月開始)動きも見られ、一律に早期化したわけではない。
- * 丸紅は、コース設定のみならず、同一コース内でも多様な選考ルートが準備され
ている。
- * 6/1に選考を開始した学生に対しては、例年同様の6/2~6/3には内定出しが
始まるスピード選考が主流。

●選考プロセス・手法

- * インターン経由の内定出し(比率)は増加する傾向。
- * 三井物産では、インターン参加が本選考参加の条件(入口)。より早期に実施す
る専門性を特定したインターン3種(マーケティング、DX、修士・博士課程向け)と、
4~5月に実施するオープンインターンがある。参加後の座談会イベント→インタ
ーン通過者に対する6/1~の最終面接→6/2以降の懇親会や本社呼び出し等、
(内定受諾の)クロージングプロセスにも隙がない。
- * 3月選考を導入した三菱商事は、3月の5大商社合同イベントでの導入説明・5月
のyoutube配信での情報開示などで受験者の不安払しょく・コントロールに成功、
新選考プロセスの高い成果につながった。
- * 商社独自の設問傾向として、ESでは「学生の人柄を探ることに特化したもの」が
目立ち、企業理解を求める質問は最小限あるいは求めないこともある。
住友商事では、一般的なES(ガクチカや志望動機等)は求められない。
- * 昨年・一昨年と連続でオンライン面接ツールharutakaに不具合が発生したため、
三菱商事はzoom、三井物産・住友商事はteams、伊藤忠商事はskypeをそれぞれ
利用。発話・通信環境の優劣は学生からもコメントが多く、企業が考えるよりも
影響は大きいと思われる。
- * 最終面接は基本的に対面で実施。
- * 三菱商事と三井物産は引き続きケース面接を実施。設問やフィードバックの傾向
を観察すると、コンサルのケース面接評価がMECE・ロジックの整合性を重視して
いるのに対し、商社のケース面接では社会やビジネスに対する感度の高さ、実現
可能性の高い施策の構築力を重視していると見られる。

商社

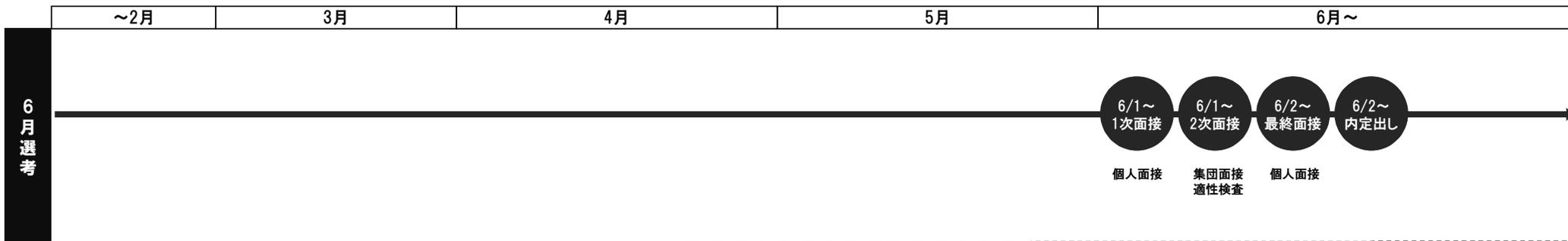
三菱商事	・・・8
三井物産	・・・8
伊藤忠商事	・・・9
住友商事	・・・9
丸紅	・・・10
双日	・・・11
豊田通商	・・・11
メタルワン	・・・12



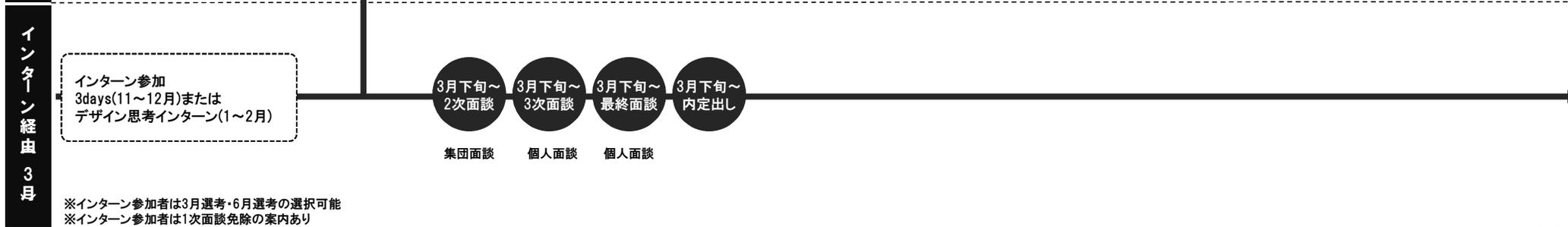
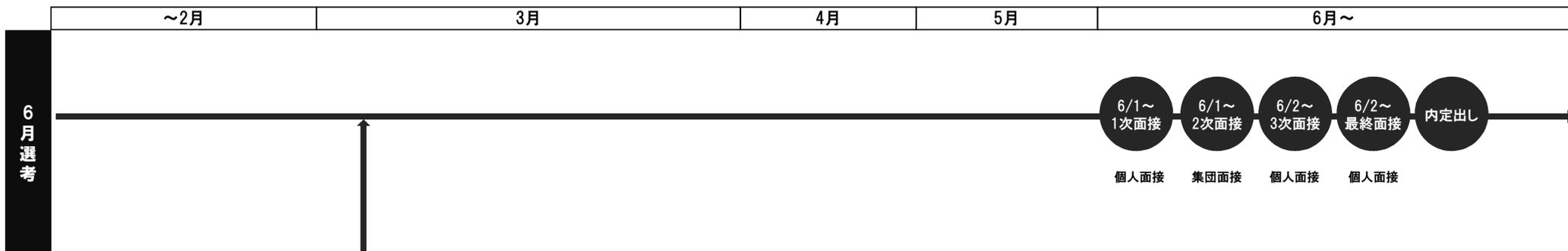
三井物産
担当職



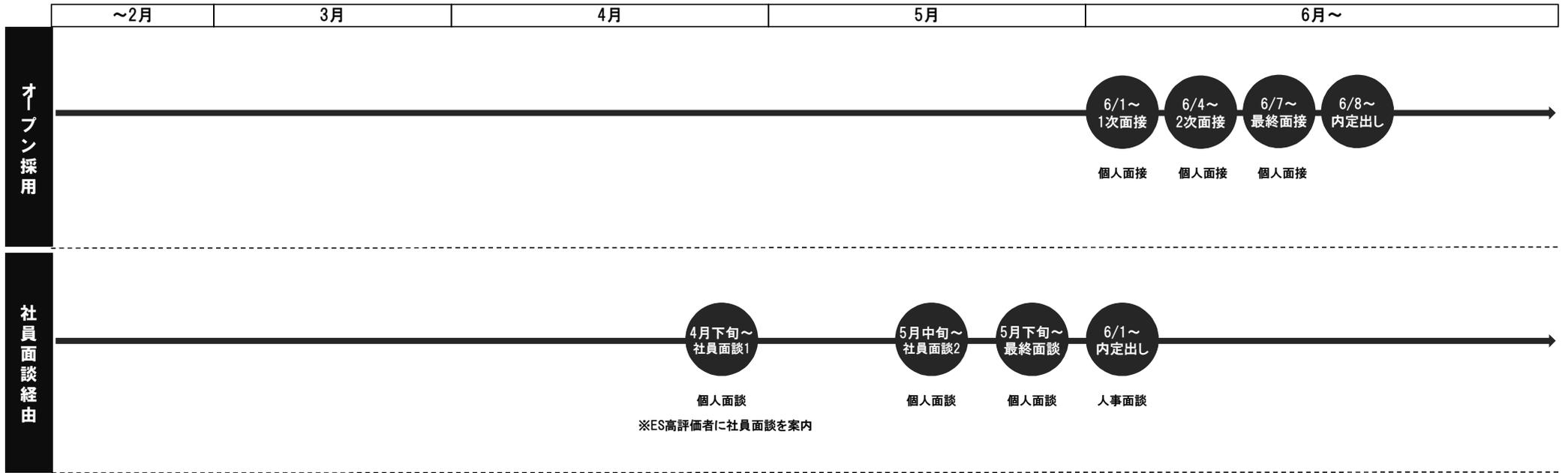
伊藤忠商事
総合職



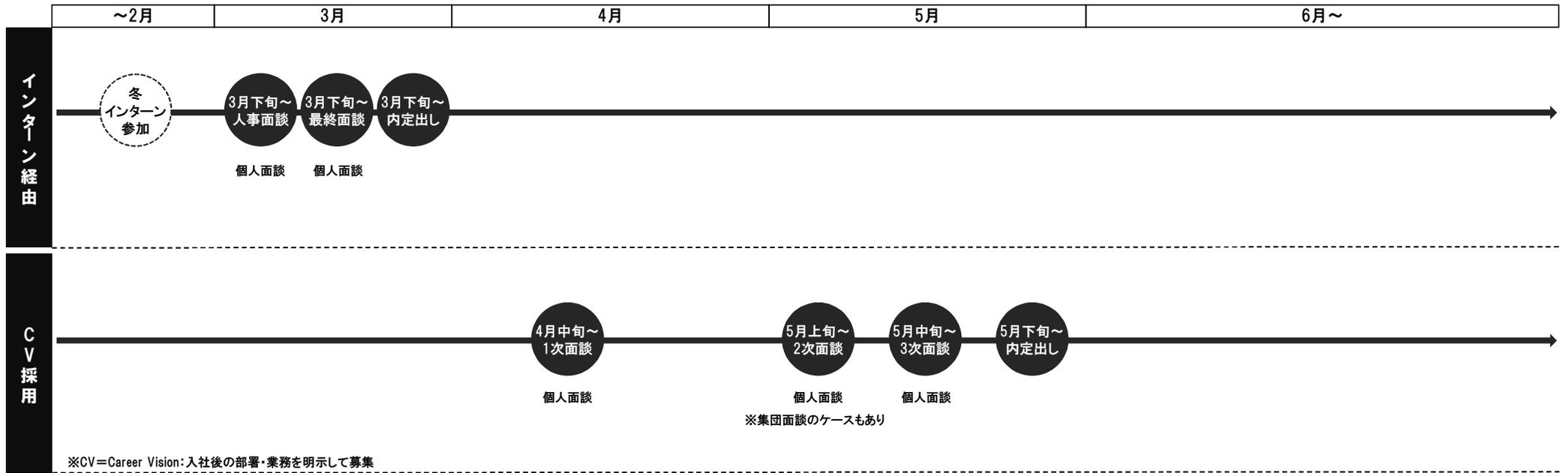
住友商事
プロフェッショナル職



丸紅
総合職



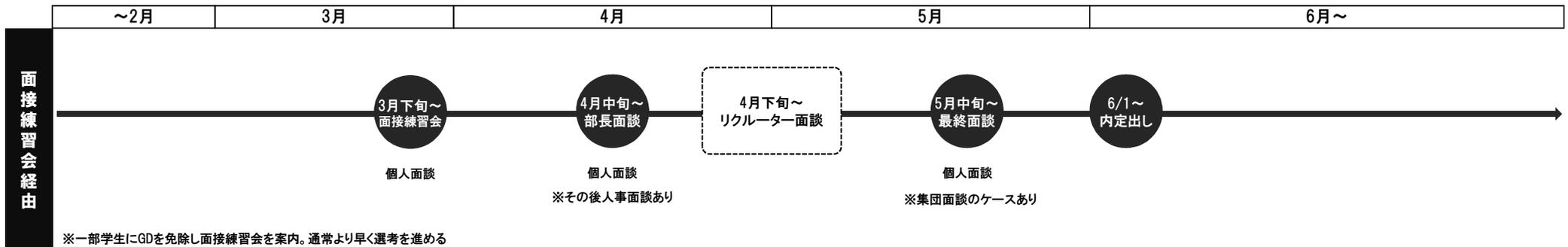
丸紅
総合職



双日
総合職



豊田通商
グローバル職





金融

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 「社会貢献志向の高まり」「ブラックイメージで国家公務員を忌避」などが影響し、早期～本エントリー時の政府系金融のブランドが上昇。裾野は、日銀・DBJ・JBICのみならず農林中金などにも広がる。
- * 人気(応募層)が広がったためミスマッチも生まれている。内定者確保(内定承諾に向けた口説き)には課題が発生。
- * 政府系金融の商社との併願(競合)は継続。
- * 専門別募集コース設定の影響もあり、メガバンク・証券を中心に「専門性が求められる」イメージが高まり、気軽な併願先から本命として受験する方向へシフトしつつある。
- * 「本命化」「全体としての採用数低減傾向」を受け(事業的に接点の薄い)他業界との併願は減少している。
- * 早期広報活動により、「金融もコンサル的な仕事」との認知が広まる。総合コンサルの受験者の絶対数が増加したことも相まり、結果として総合コンサルとの併願が増加。
- * 東京海上日動のインターンブランドは健在だが、上位校における(受験先としての)損保業界の人気は翳り。
- * カード業界はじわじわと人気上昇。「(事業そのものの)デジタルイメージ」「(相対的に)ホワイト/地方勤務が少ない」等による。
- * 「インターンブランド(参加すべきインターンという評価)」と「採用ブランド(受験すべき企業という評価)」が乖離しているケースが散見される。

●スケジュール

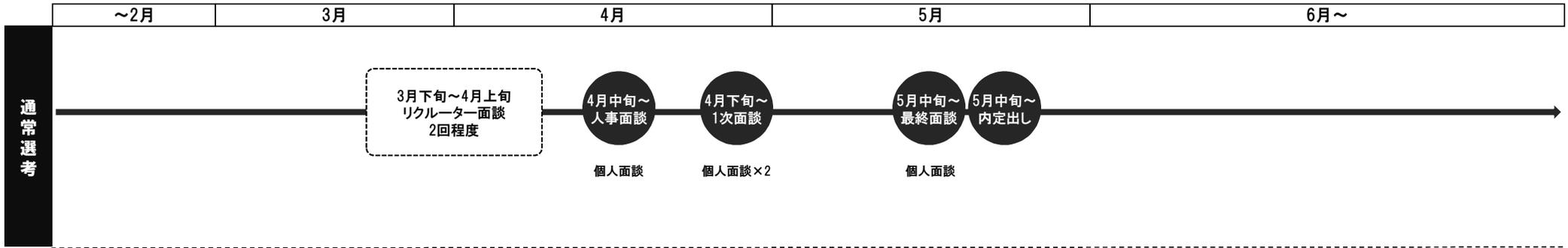
- * 日銀、JBIC、DBJの内定時期が5月上～中旬に横並びとなる(一部コースは異なる)。農林中金も、24卒インターン経由の内定時期は4月下旬から5月前半となった。
- * 民間金融は、内定時期のピークが4月に揃ってきた(23卒比では遅くなったケースと早まったケースの両方が見られる)。
- * 早期ルートでは3月の内定出しが見られる。三井住友銀行の夏インターン経由では、年内に内定出しが行われた。
- * 6月1日～初旬の意思確認にこだわらなくなっている。

●選考プロセス・手法

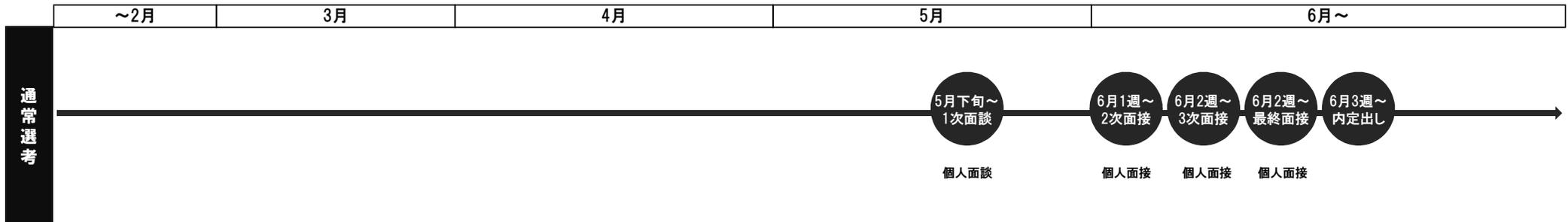
- * メガバンク・証券の募集コースの設定(区分や名称)は、外資金融と同様になりつつある。
- * スクリーニングでは「リクルーター面談で学生を選り分け人事面接へと送り込む」従前の手法が健在。
- * その一方で「リクルーター面談に拠らない手法での初期スクリーニング」を試すケースがみられる。
 - ・農林中金: インターン経由選考者にAI選考・リクルーター面談後のGDを導入
 - ・三井住友信託銀行: インターン参加者はリクルーター面談を免除
 - ・三井住友銀行: リクルーター経由受験者はプライベートセッション後にES通過者対象の動画選考 など
- * メガバンクでは「リクルーター」という呼称はなくなっている。

金融

日本銀行	・・・16
国際協力銀行	・・・16
日本政策投資銀行	・・・17
農林中央金庫	・・・17
三菱UFJ銀行	・・・18
三井住友銀行	・・・19
みずほ銀行	・・・19
三菱UFJ信託銀行	・・・20
三井住友信託銀行	・・・20
東京海上日動	・・・21
日本生命	・・・21
野村証券	・・・22
みずほ証券	・・・23
SMBC日興証券	・・・24
三井住友カード	・・・24



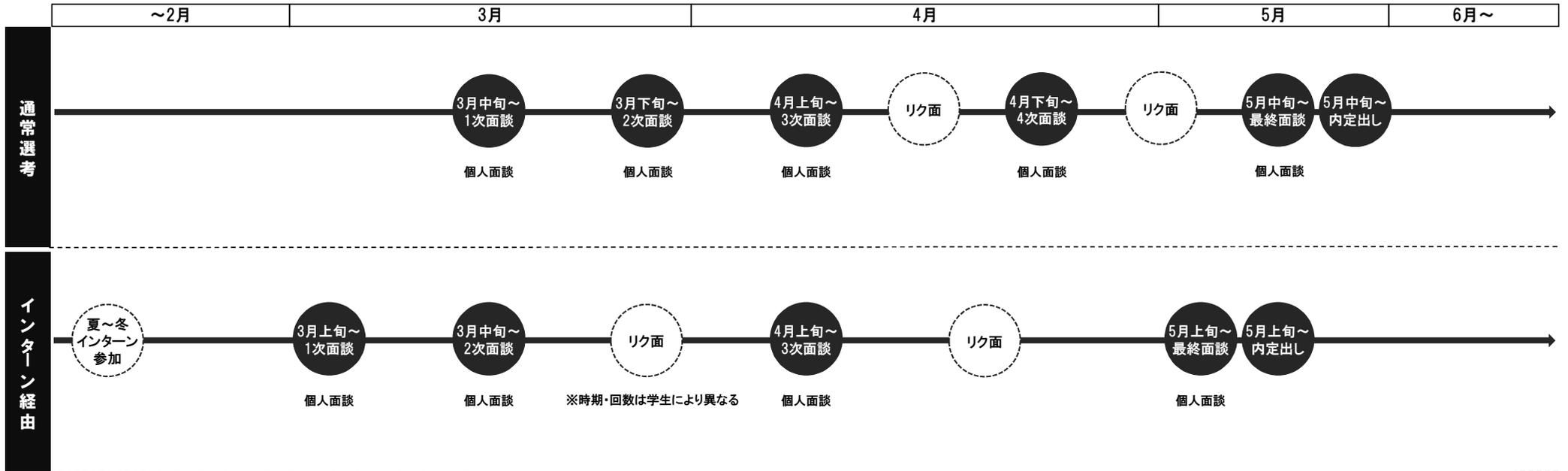
国際協力銀行
総合職



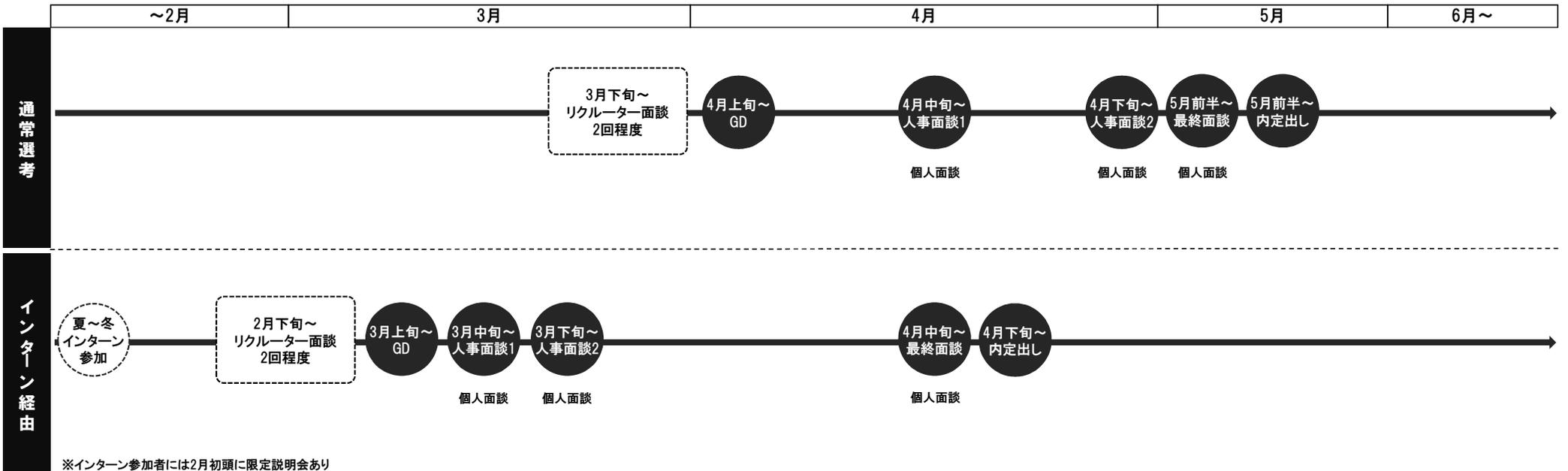
インターン
経由

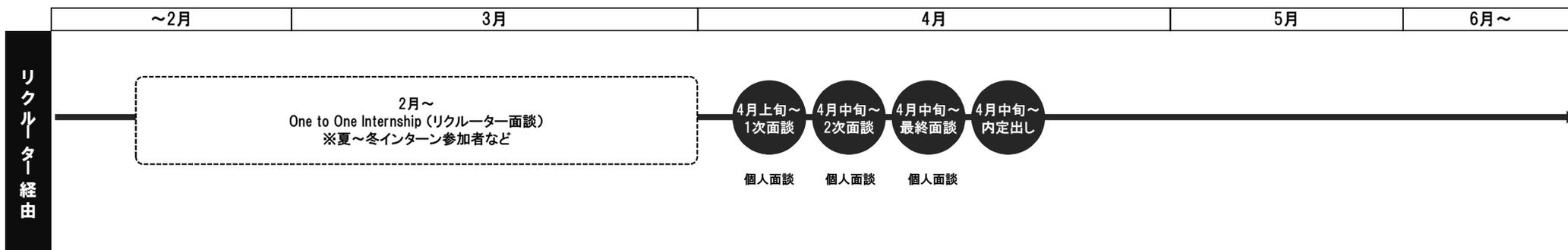


※インターン参加者の一部が対象

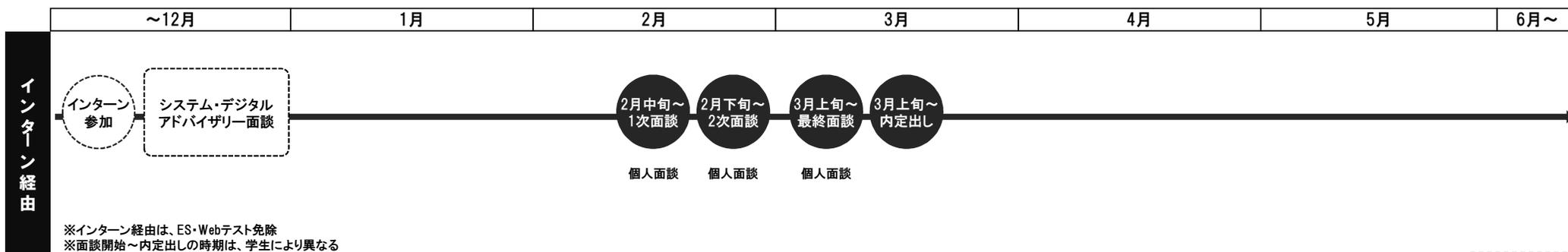


農林中央金庫
総合職



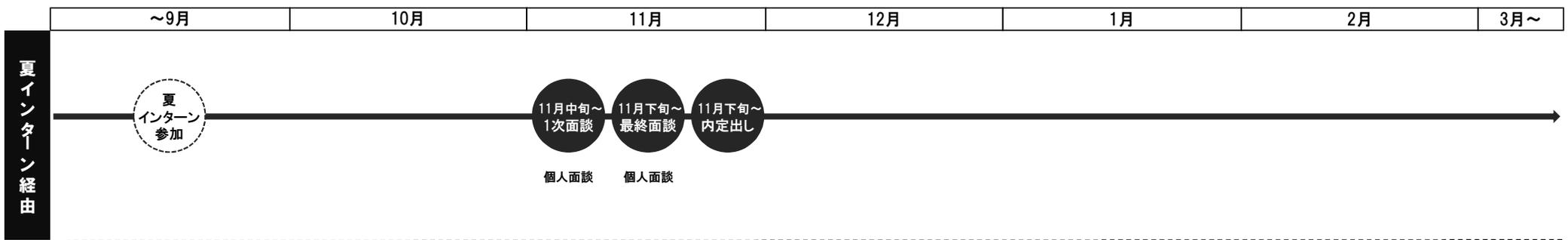
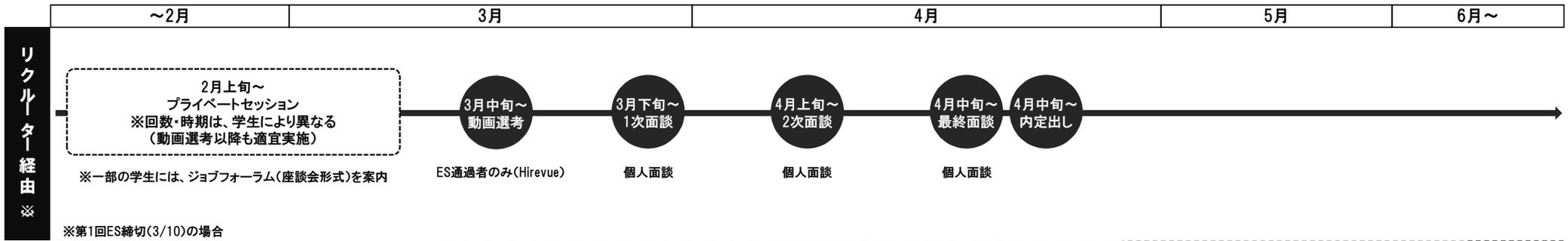


三菱UFJ銀行
総合職／システム・デジタルコース



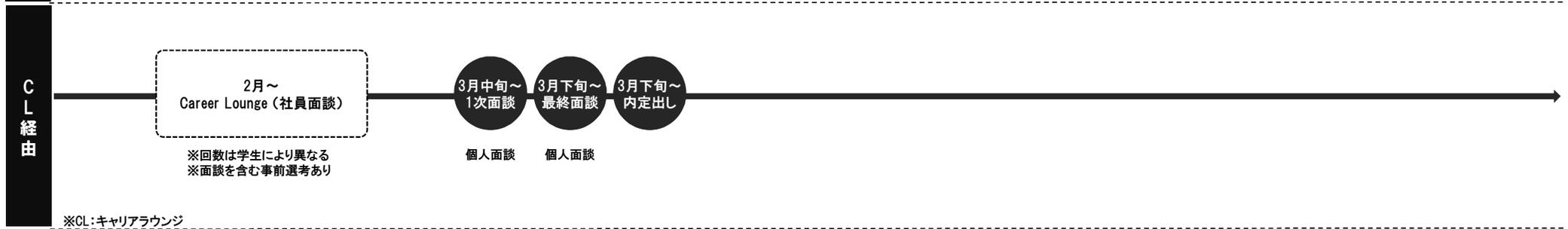
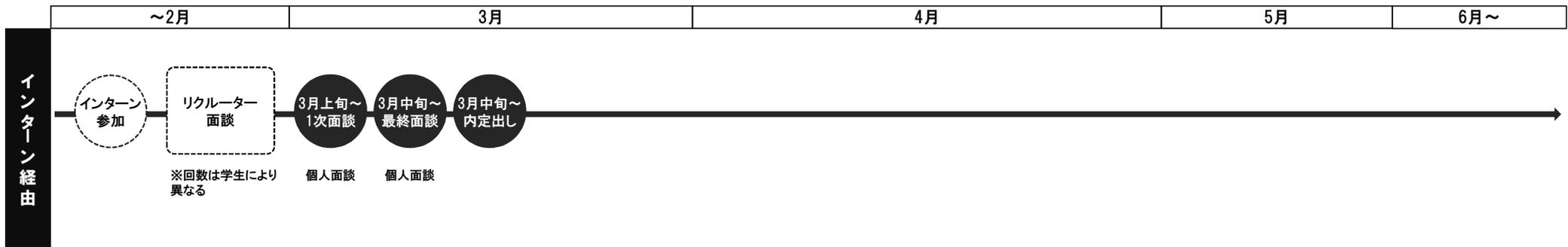
三井住友銀行

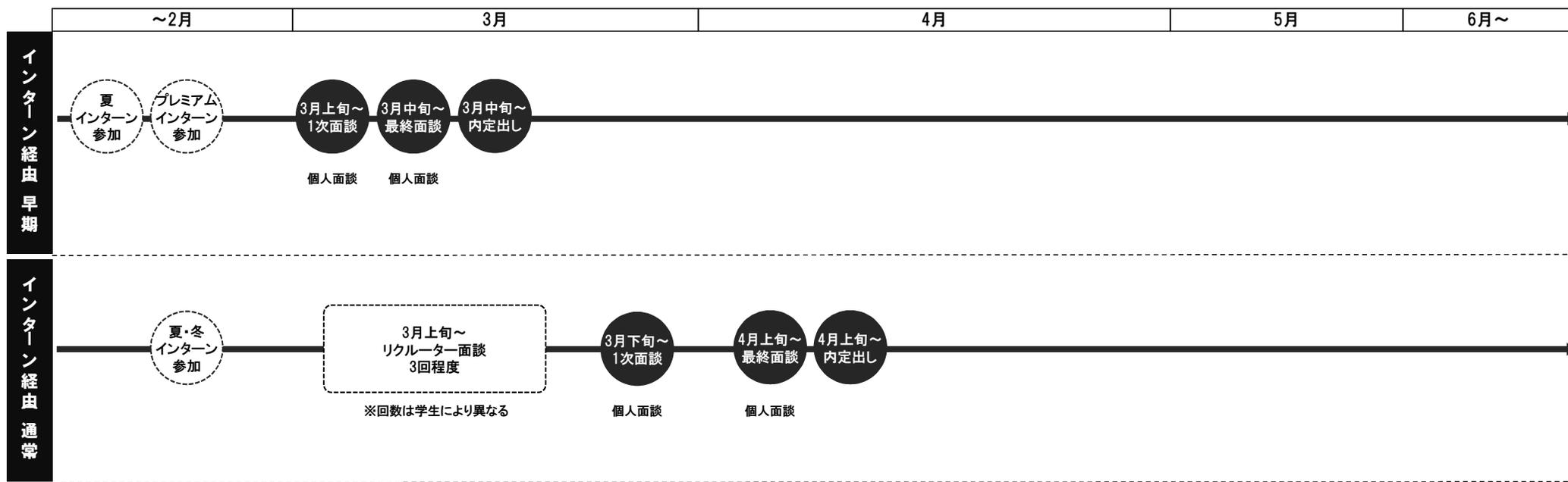
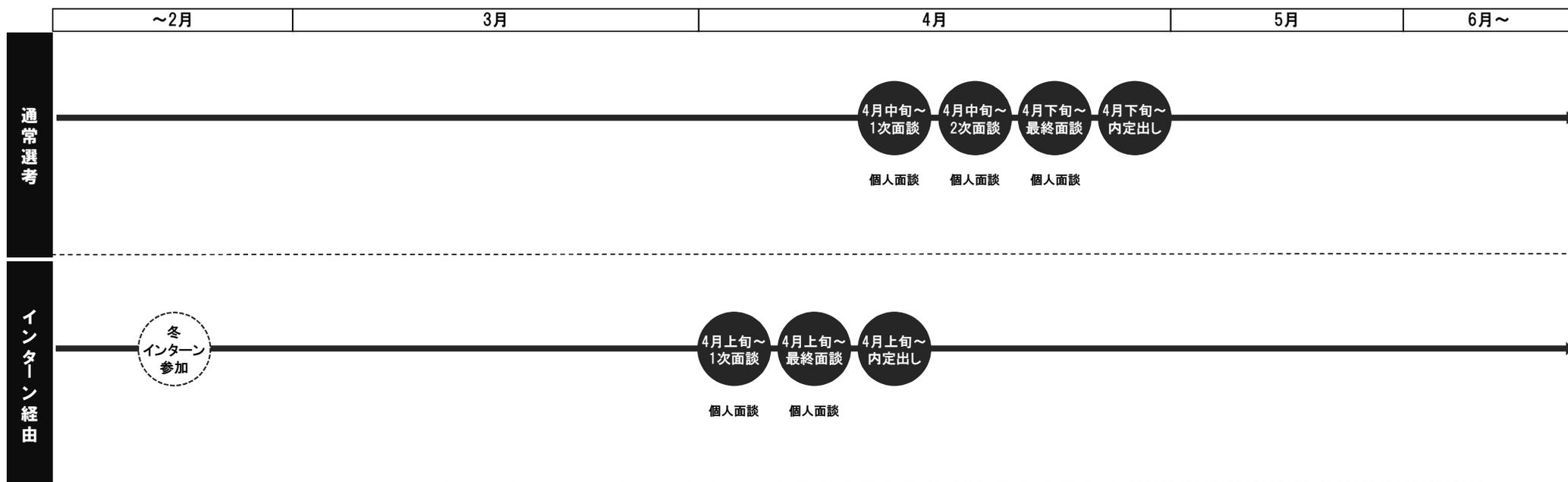
総合職

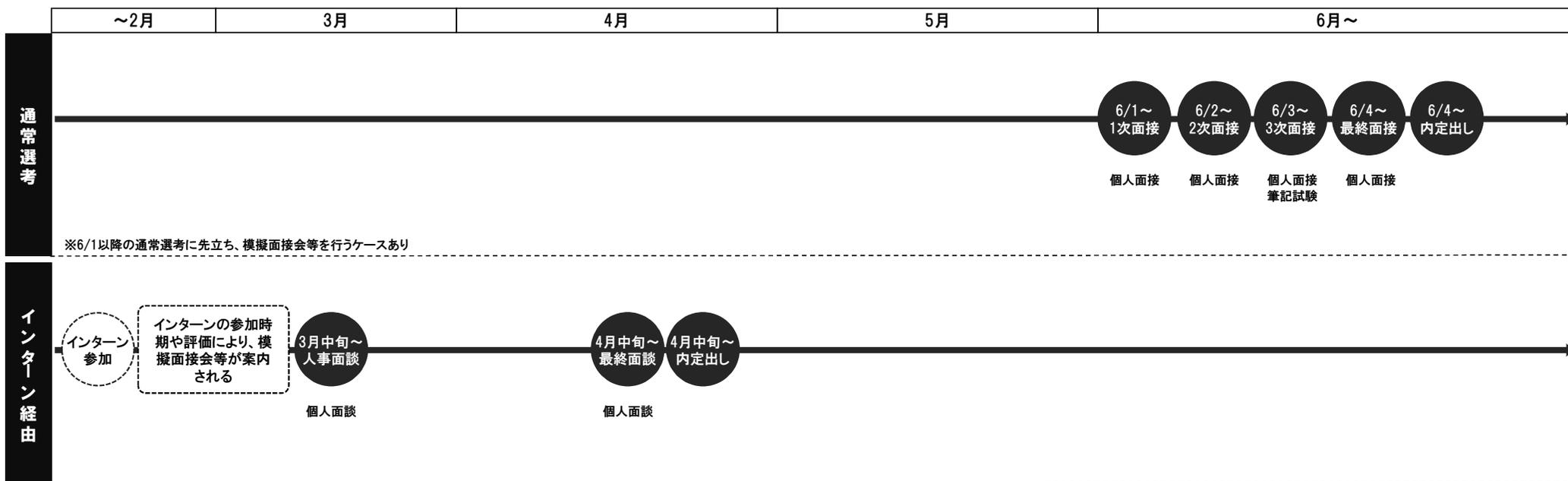


みずほ銀行

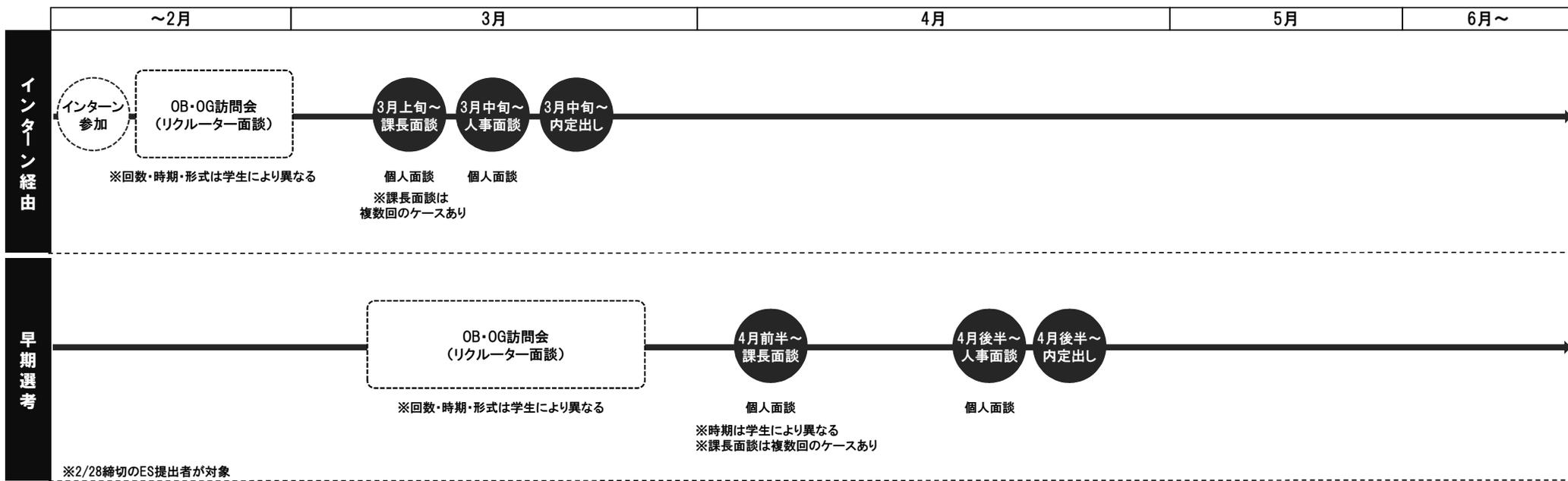
総合職/オープン型オープンコース

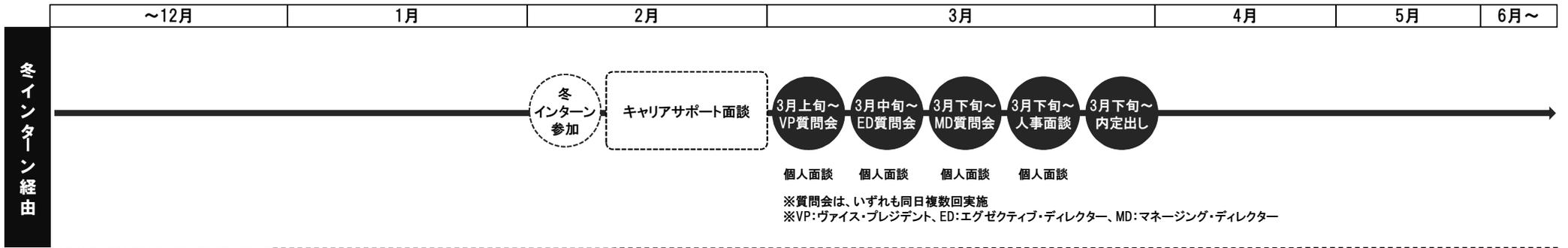




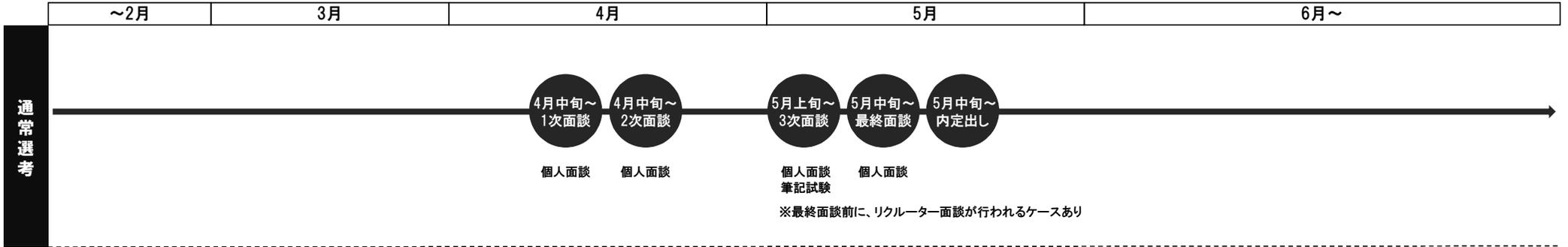


日本生命
総合職

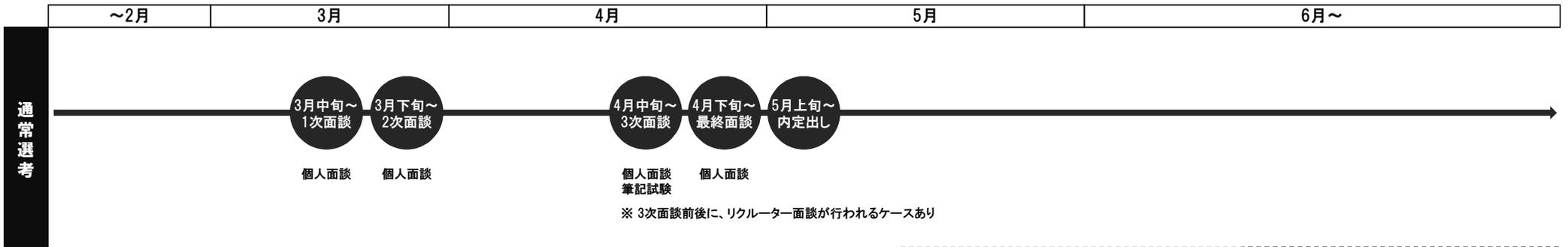


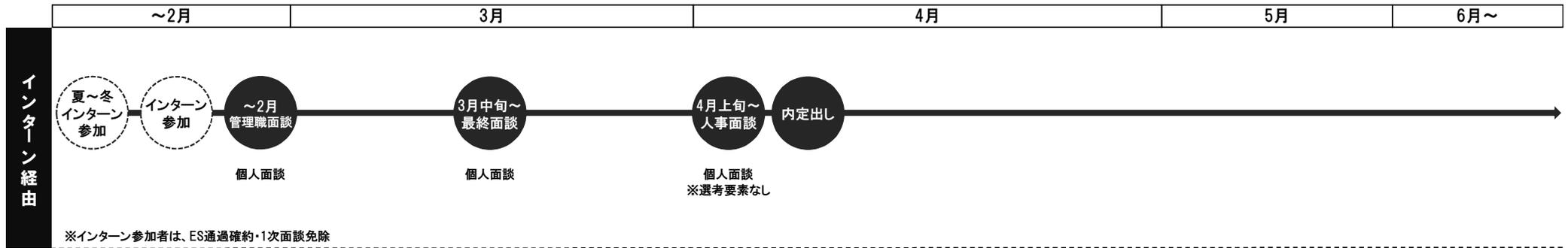


みずほ証券
オープンコース

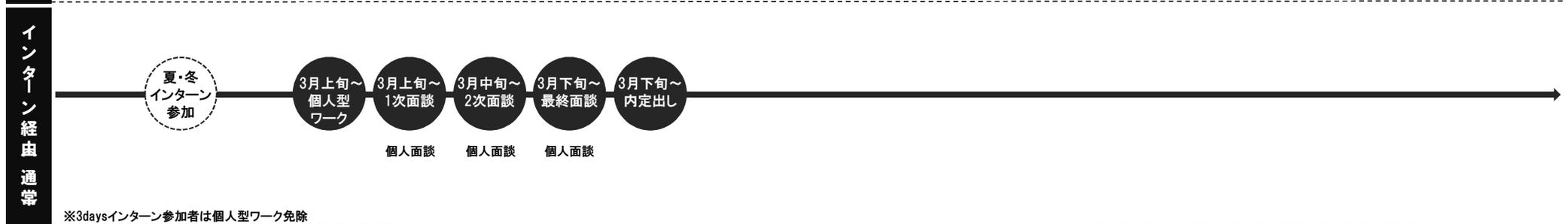
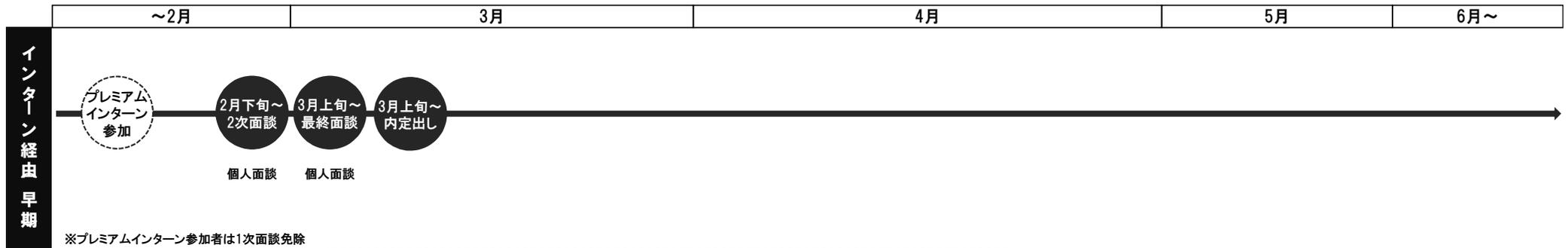


みずほ証券
インベストメントバンキングコース





三井住友カード
基幹職



メーカー

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 他業界を本命とし、メーカーを併願する流れが縮小。メーカーを中心に受ける層の中でパイを奪い合う形。
- * 製品に紐づく業界・企業を「有形商材ビジネス」、紐づかない業界・企業を「無形商材ビジネス」とする志望軸の区分が定着。無形商材ビジネスの方が「人が高度な価値提供の源泉になる」イメージがあり、それが商社・金融・コンサルなどと競合した際の敗因になりやすい。
- * 一方で、商材が分かりやすいBtoC(食品・飲料など)メーカーは人気を保つ。学生の企業研究が浅くなった時にもこの傾向は強まる(売り手市場下では過去にも同様の傾向が発生した)。
- * 人気の高いマーケティング職での職種別採用が多いこともBtoCメーカーの人気を支える。「外資系メーカー受験者(落選者)」や「コンサル内定保持者」からも流入がある。
- * デジタル関連の仕事への興味・志望がきっかけとなって(総合電機や電子機器メーカーが)受験先に選ばれるという流れが新たに生まれている。

●スケジュール

- * 通常選考ルートの日程は昨年並みの企業が多い。
- * インターン経由の早期選考ルートの内定出しは、大幅に早まるケースが一部見られた(一部の学生のみ早く内定出しを行ったものも含まれる)。

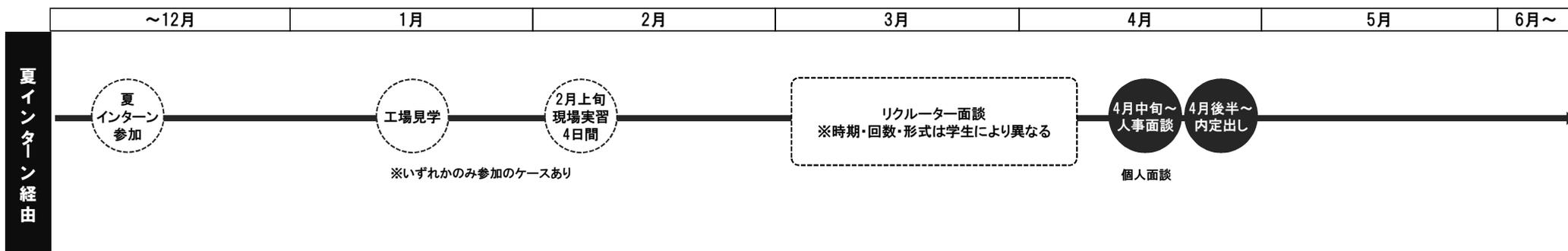
- * ほとんどの企業は5月末までには内定出しを終え、6月まで持ち越すケースは少ない。

●選考プロセス・手法

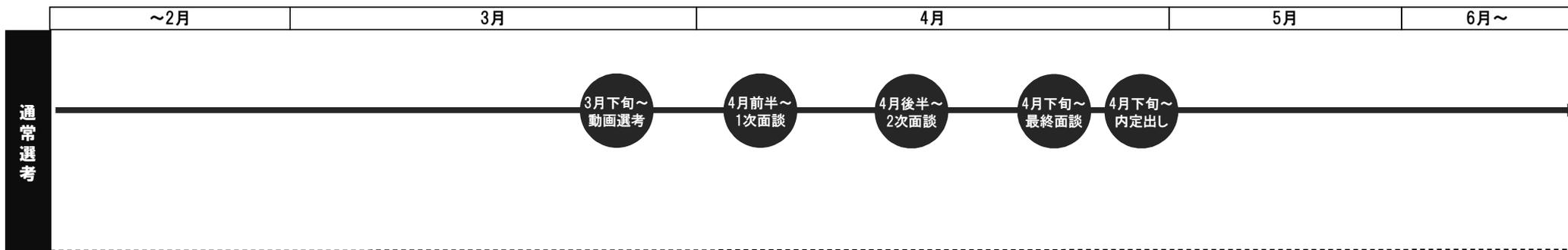
- * 年を追うごとに「職種別・部門別」コースを設ける企業が増加。ジョブ型雇用の導入なども背景にあると思われる。
- * 「専門コース別/オープン」2つの入り口を設け、ジョブ・マッチングを間に入れることで希望分野の調整を図る手法も定番化。こうした入口の設定と連動し、インターンも複数種類が準備されることが多い。
- * 職種や部門の先決めの取組みは好感されている。ただし「配属確約」ではない場合もあり、最終的にスキルの高い学生を取り込めない場合も。
- * 選考プロセスで出会う「社員の人柄」が志望に影響する度合いが他業界と比べて大きい。そのことが時に、企業理解へ関心が向かう妨げとなるため(人の魅力で一時的に満足してしまう)、企業にとっては注意が必要な点でもある。
- * 選考と選考の間のインターバルが短くなる傾向(待機期間を作らない、コンパクトな日程設計)。早期内定者向けの内定者フォロー施策も拡充されており、きめの細かさが勝敗を分けるポイントになってきている。
- * 富士通がケース面接を導入した。今後、メーカーでも導入が広がるか要注目。

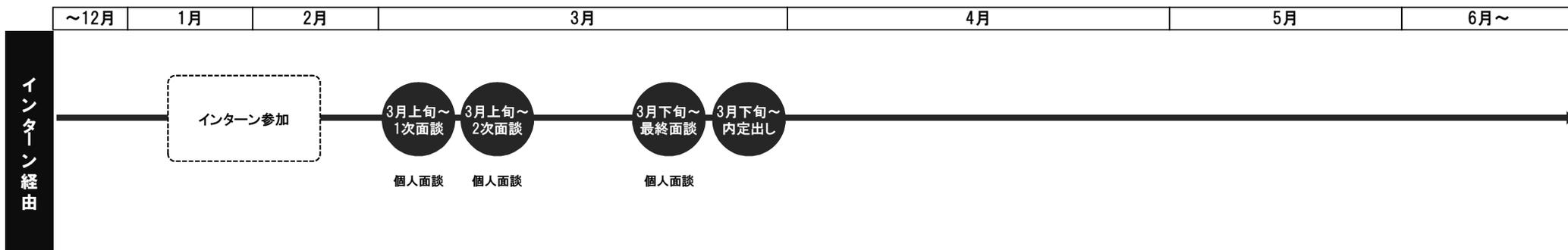
メーカー

日本製鉄	・・・28
住友化学	・・・28
東レ	・・・29
旭化成グループ	・・・29
AGC	・・・30
富士フイルム	・・・31
三菱重工	・・・32
川崎重工	・・・33
INPEX	・・・33
鹿島	・・・34
清水建設	・・・34
トヨタ自動車	・・・35
本田技研工業	・・・35
日立製作所	・・・36
パナソニックグループ	・・・36
ソニー	・・・37
富士通	・・・37
サントリーホールディングス	・・・38
味の素	・・・39
花王	・・・39

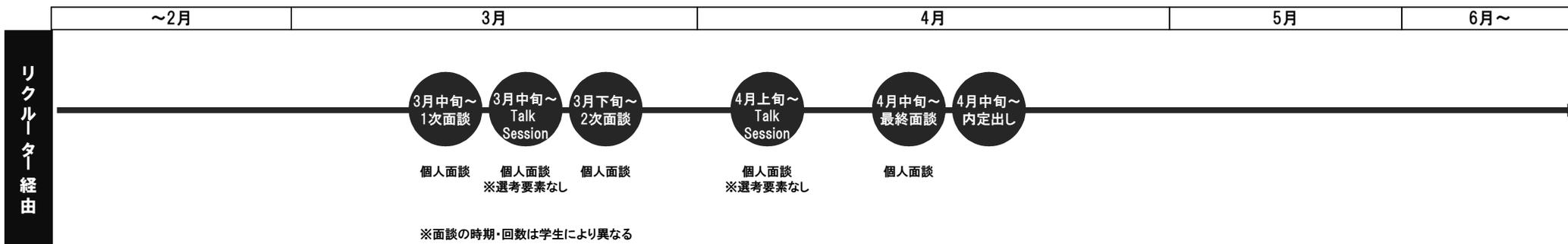


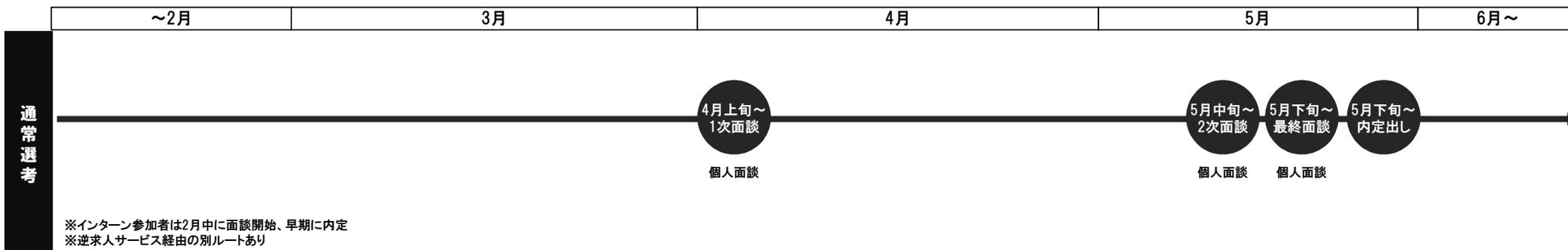
住友化学
事務系クリエイティブスタッフ(総合職)

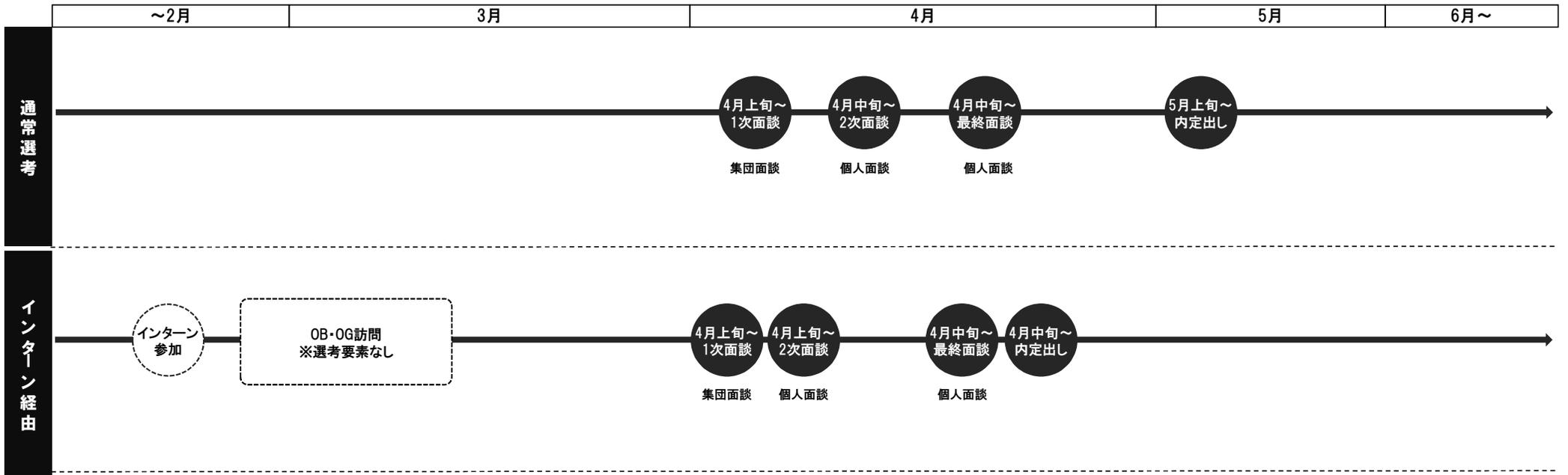




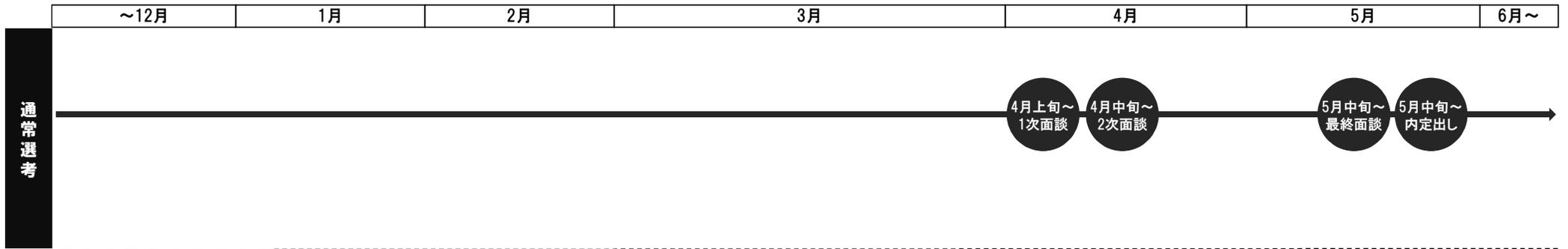
旭化成グループ
事務系総合職



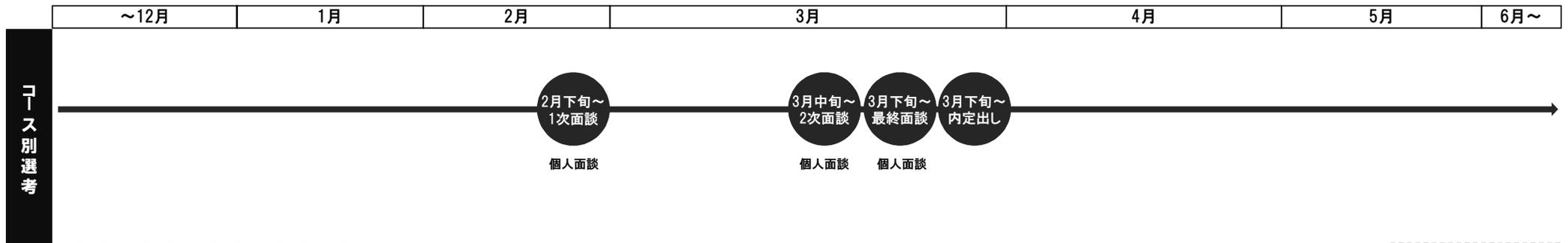


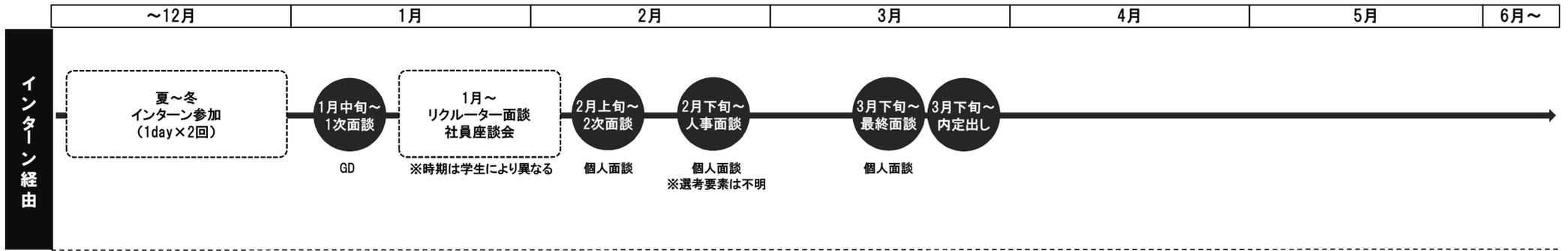


三菱重工
事務系総合職

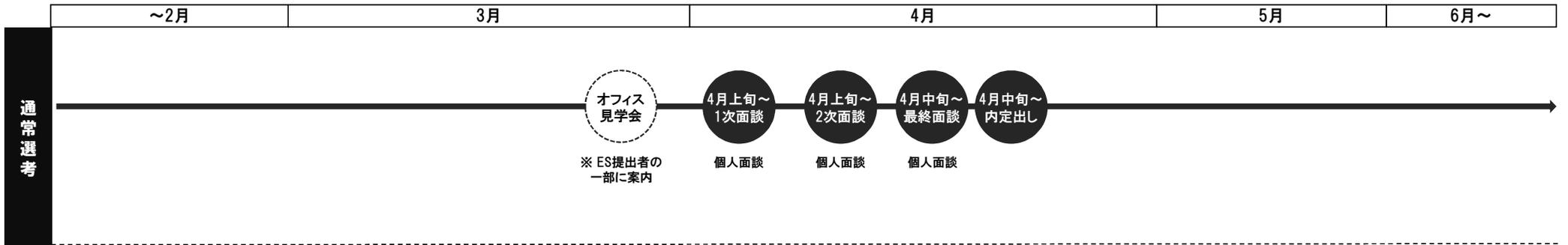


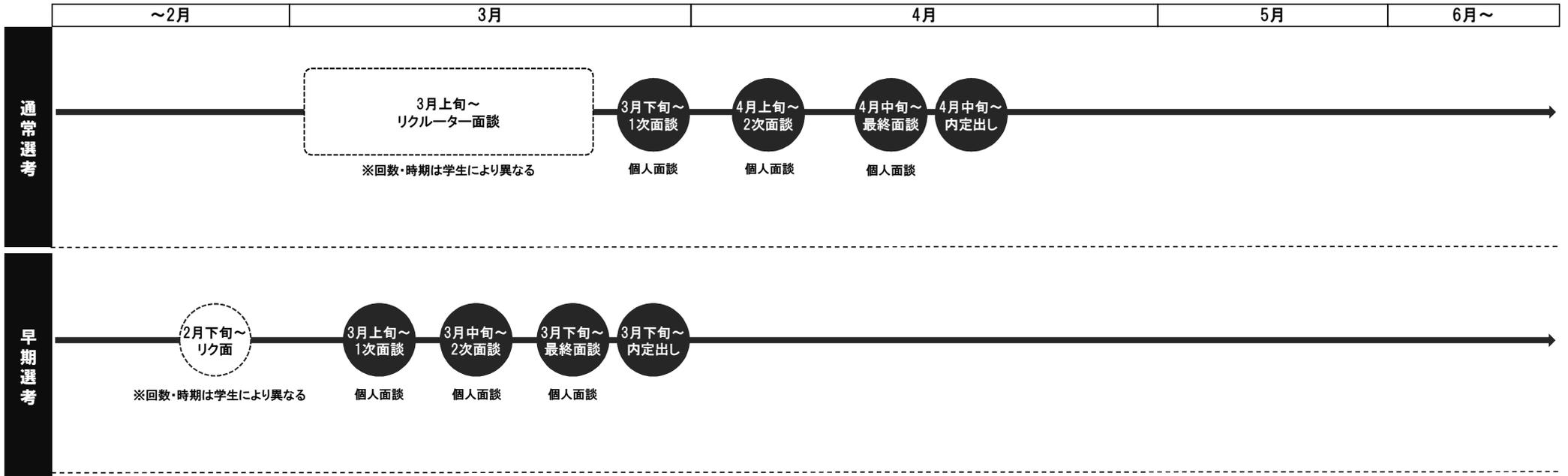
三菱重工
事務系専門職





INPEX
グローバルスタッフ事務

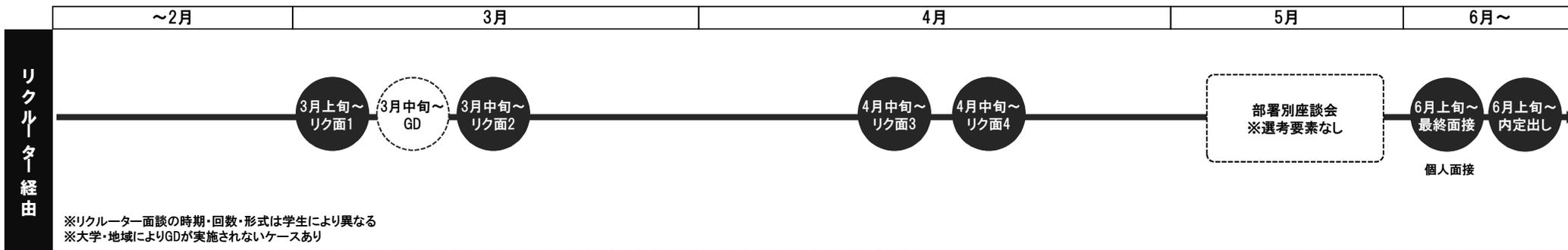




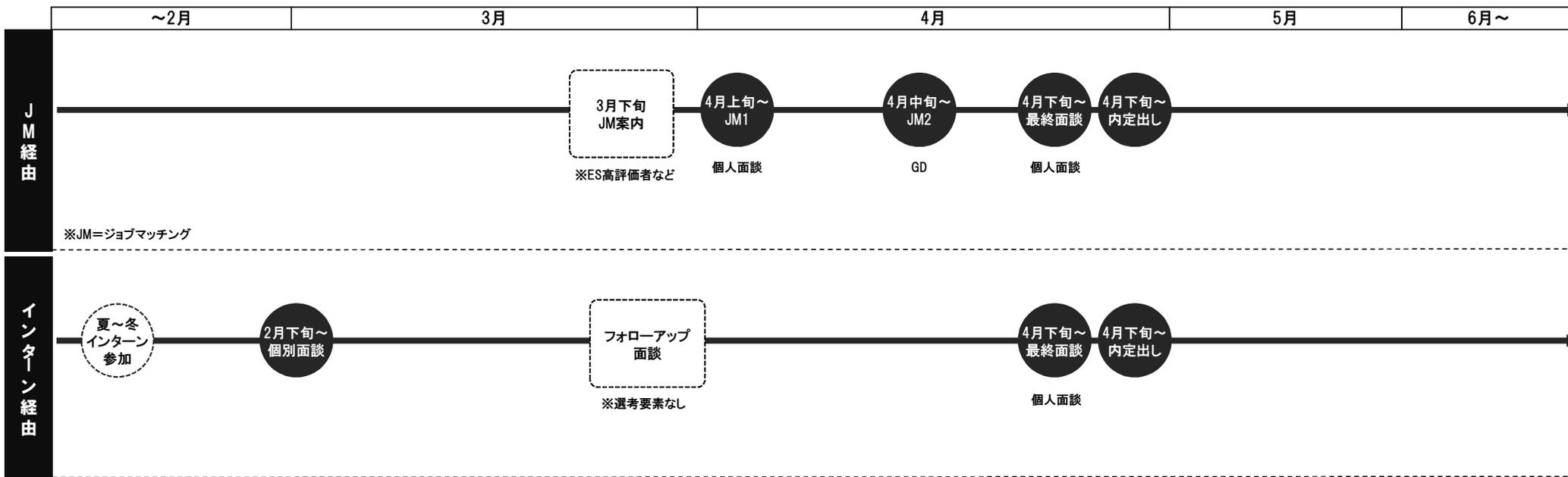
清水建設
グローバル職文系



トヨタ自動車
事務職(総合職)

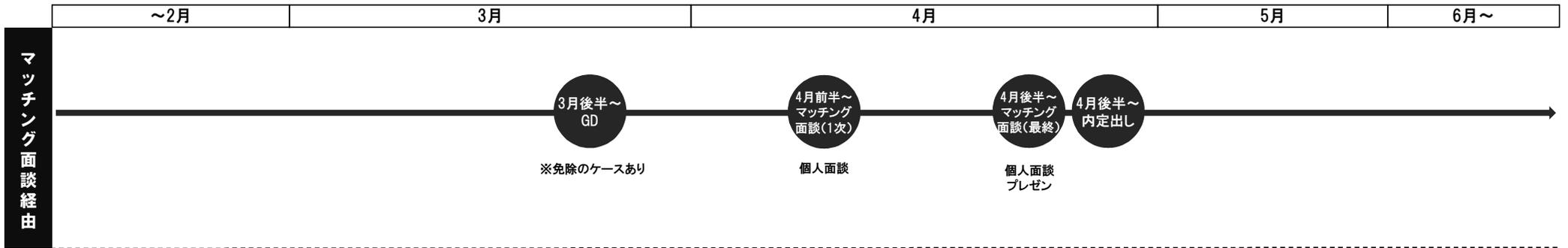


本田技研工業
事務系職/職種別採用コース



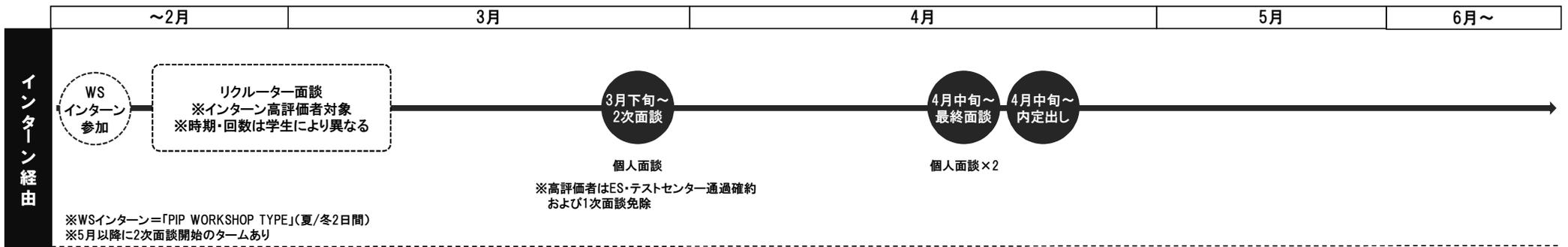
日立製作所

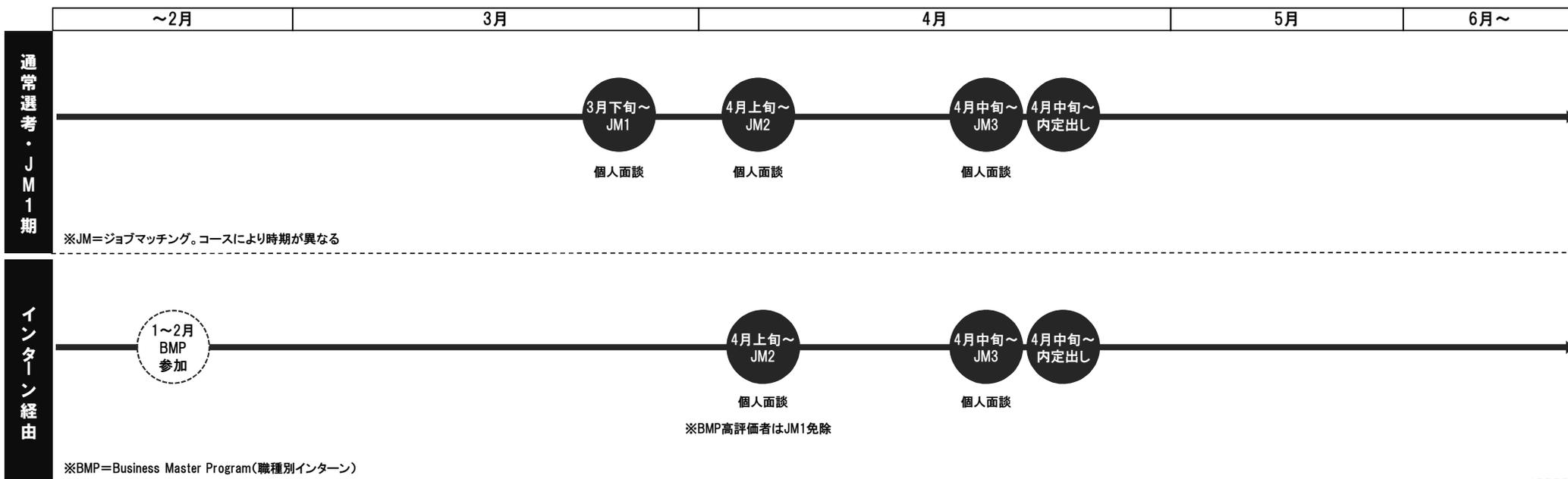
ビジネス・マネジメント系／オープンコース



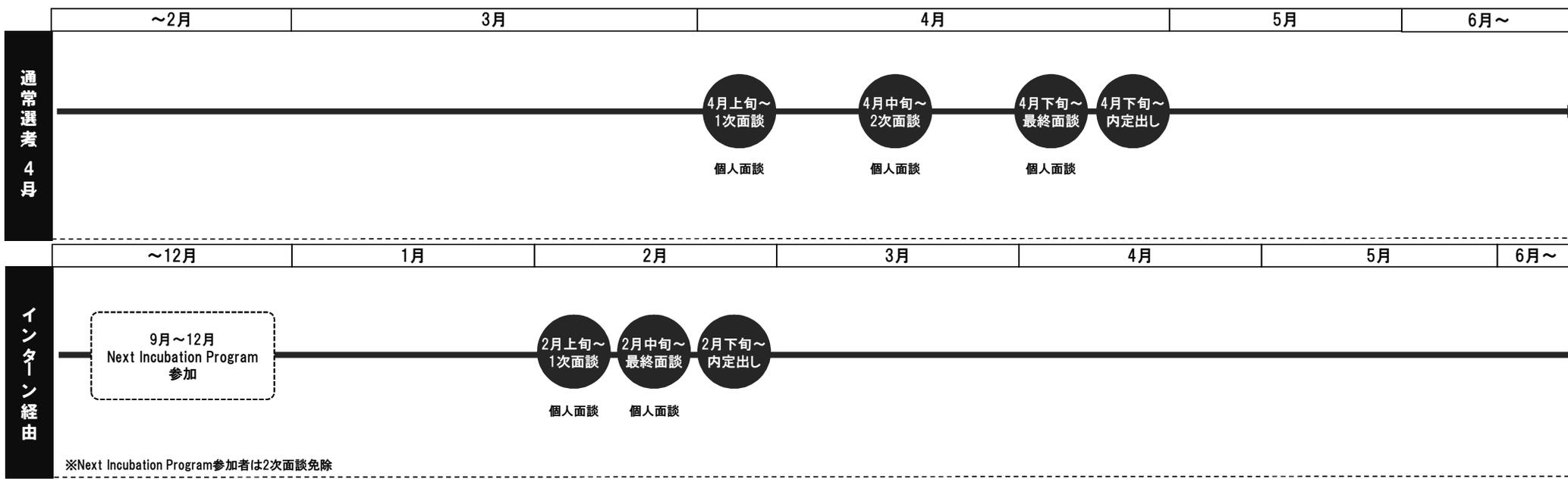
パナソニックグループ

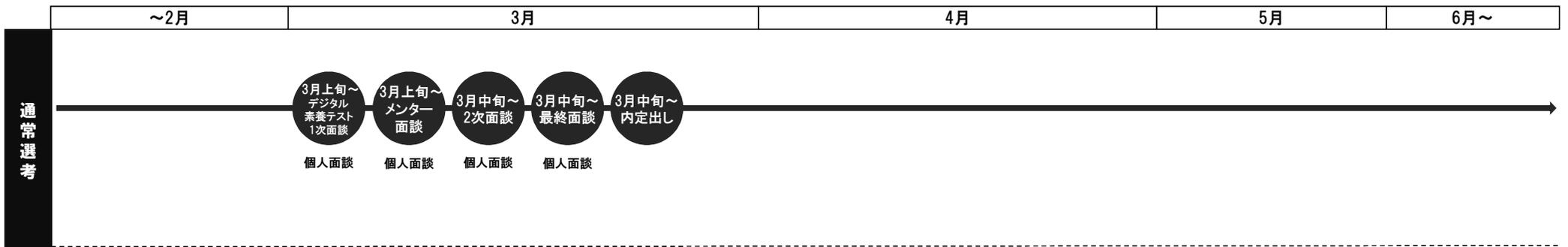
事務系／WILLコース 6月度選考





富士通
総合職/OPENコース

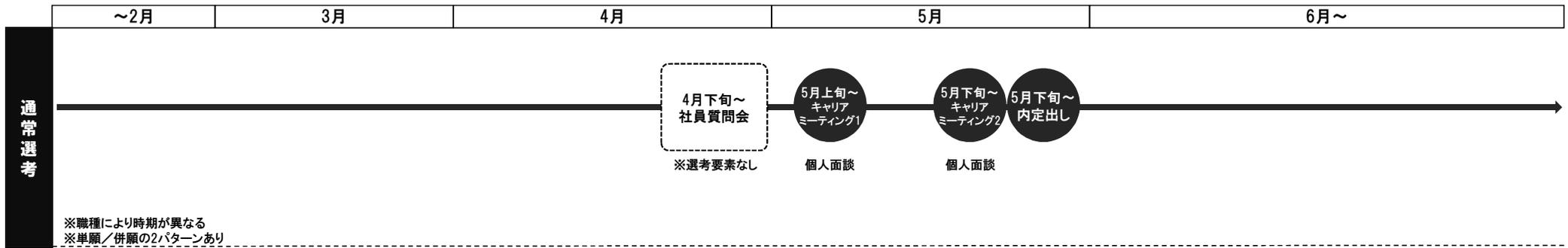




味の素
総合職/Sales・Business



花王
事務系/職種別



サービス

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 総合コンサル(会計系・IT系・業務系など)の人気は引き続き高い。
「選考段階で特定分野の知識を求められない」「業界全体で積算した募集人数も多い」ため応募しやすく、戦略コンサル、IBD、政府系金融、商社、デベロッパーなど幅広い業界の滑り止めになっている。
- * Big4系のFAS(ファイナンシャルアドバイザー サービス)は、近年、人気上昇。
- * デベロッパー人気は堅調で、三井不動産・三菱地所の人気は三菱商事・三井物産と拮抗。
- * 学生の中でのデベロッパーのイメージは「就活偏差値が高い」「ホワイト・好待遇」「街づくり(創造的で社会的影響が大きい)」「頭を使うソリューションビジネス」の総和。
認識内容がフワッとしており、それゆえにイメージを覆しにくい。
採用上で競合した学生に対する差別化・口説きトークの展開が難しい。
- * 広告業界は魅力の切り口が多様化。過去の業界イメージ(「ブラック」「BtoBの交渉力が重要」など)は良くも悪くも失われつつある。
- * コロナ禍が一段落し、運輸の人気が復調。
海運はホワイト志向や海外志向の学生に人気、引き続き商社との併願は多い。

●スケジュール

- * 選考・内定時期は2～5月に広く分散。インターン経由では、2月内定も見られる。
- * サービスは他の業界よりも相対的に内定出しが遅い企業が多いが、引き続きじわじわ早期化(1週間程度の早期化)している。
- * ほとんどの企業が5月中までに選考を終え、(意思確認としての)内定出しを6/1まで引っ張る企業はほぼいない。
6/1選考開始にこだわっていた企業も、5月中の選考開始となっている。

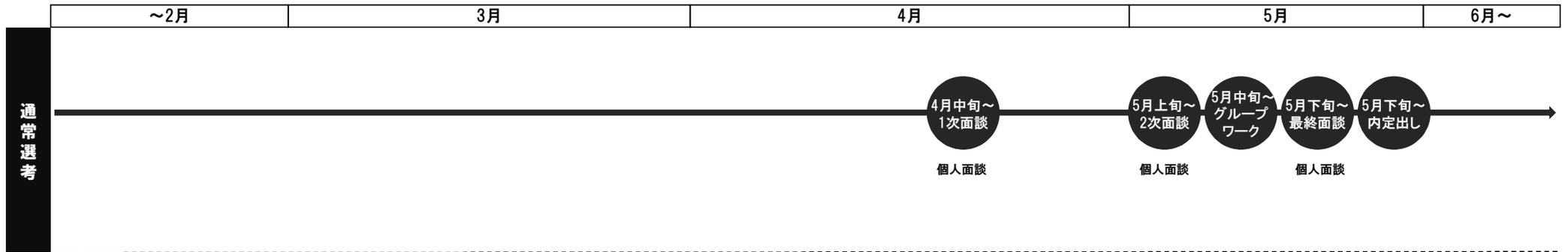
●選考プロセス・手法

- * 三井不動産・三菱地所では、選考ルートの分岐が複雑化。
また、対面やオンラインでのオフィス見学など、リアリティを補完する施策が好評。
- * 野村総研では経営コンサルタント職の通年採用が定着。
- * (特に初期の)選考ステップを見直すケースが散見された。
 - ・電通: 面接の回数が1回減少
 - ・商船三井: 面接の回数が1回減少
 - ・電源開発(通常選考ルート): リクルーター面談に代わりGD導入
 - ・NTT東日本(インターン経由): GDが面接×2に置き換わる

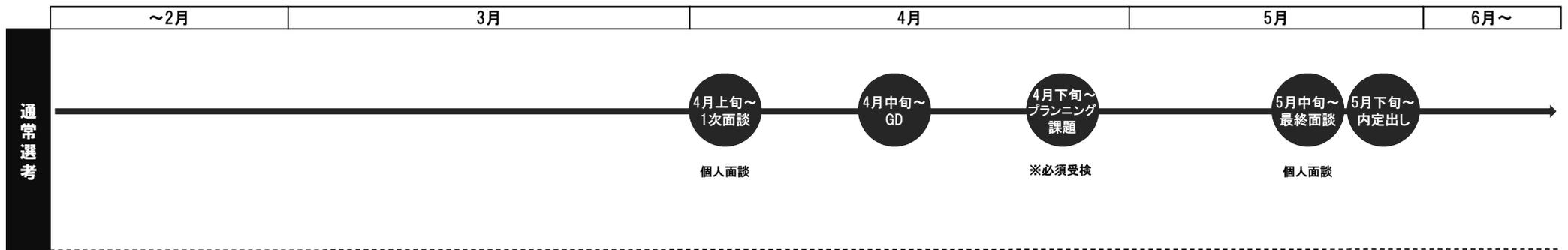
サービス

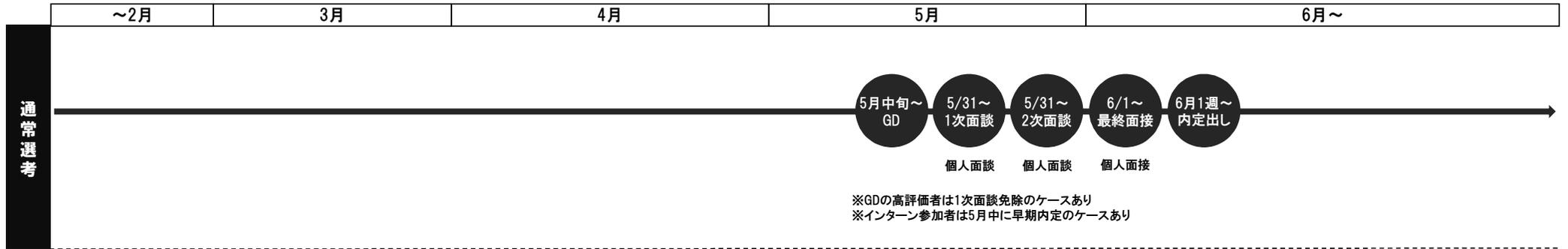
電通	・・・42
博報堂*	・・・42
三菱地所	・・・43
三井不動産	・・・43
東急不動産	・・・44
JR東海	・・・45
JR東日本	・・・45
日本郵船	・・・46
商船三井	・・・46
ANA	・・・47
電源開発	・・・48
東京電力	・・・48
東京ガス	・・・49
NTT東日本	・・・49
NTTデータ	・・・50
野村総研	・・・50

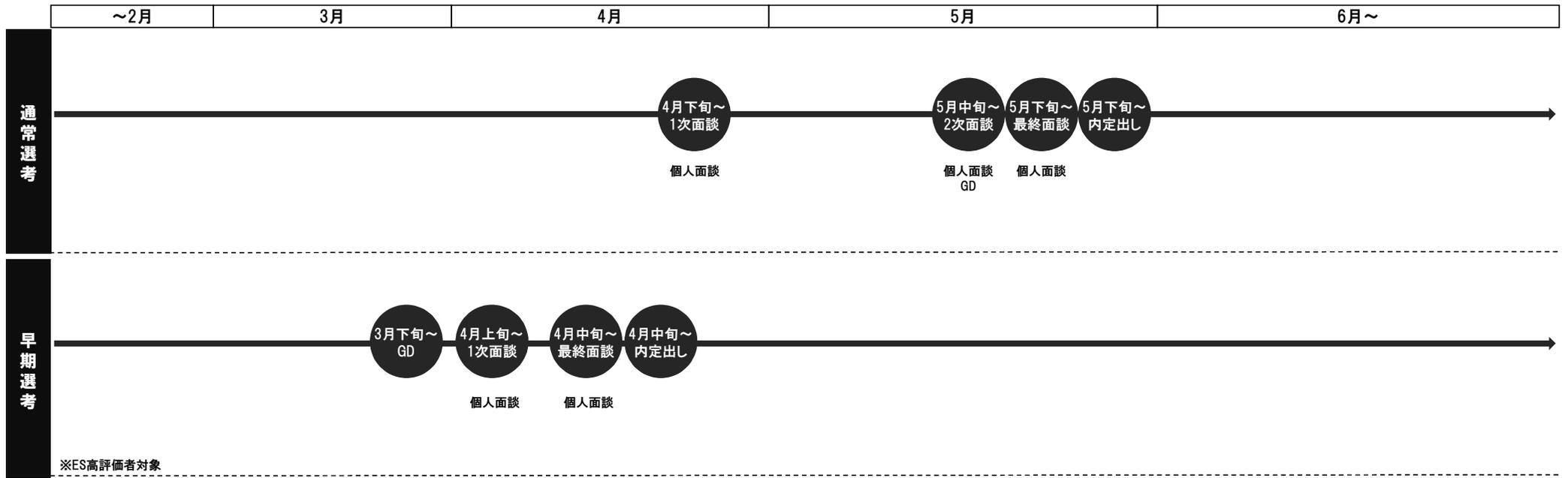
* 博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ



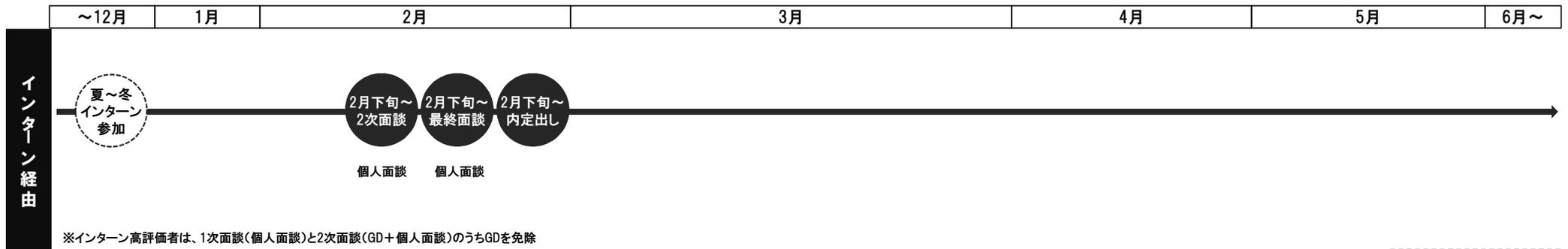
博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
総合職



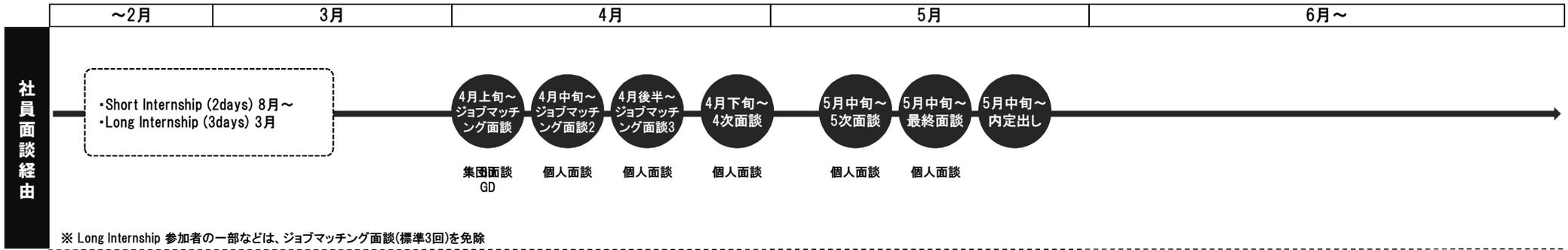




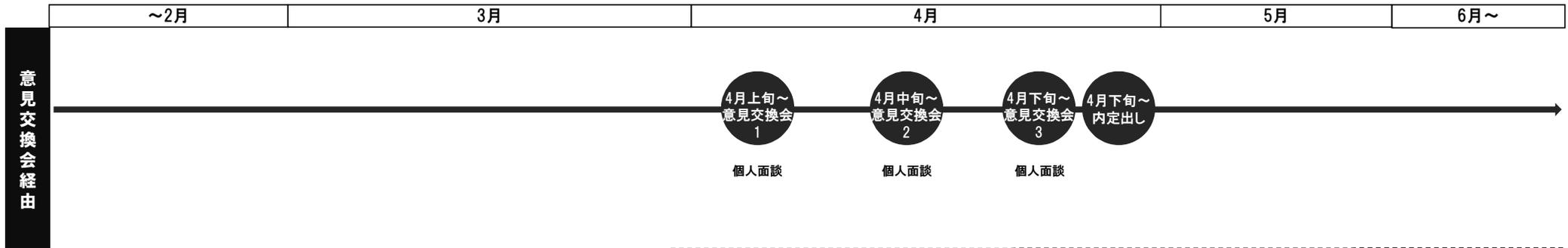
東急不動産
総合職

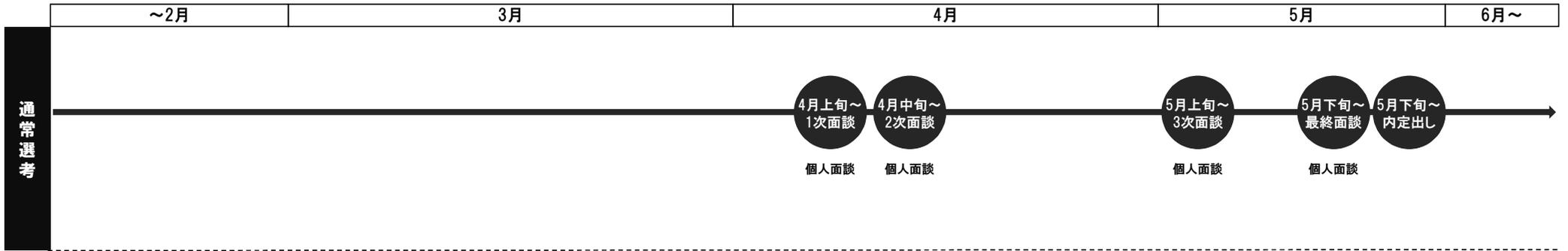


JR東海
総合職(事務系統)



JR東日本
総合職

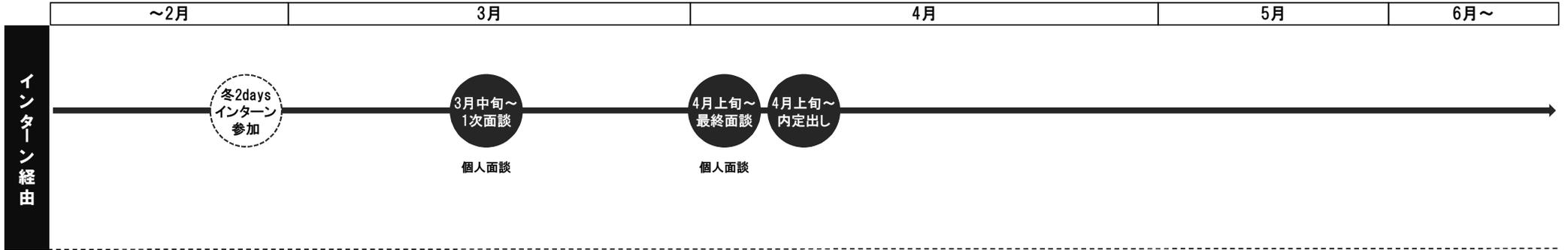




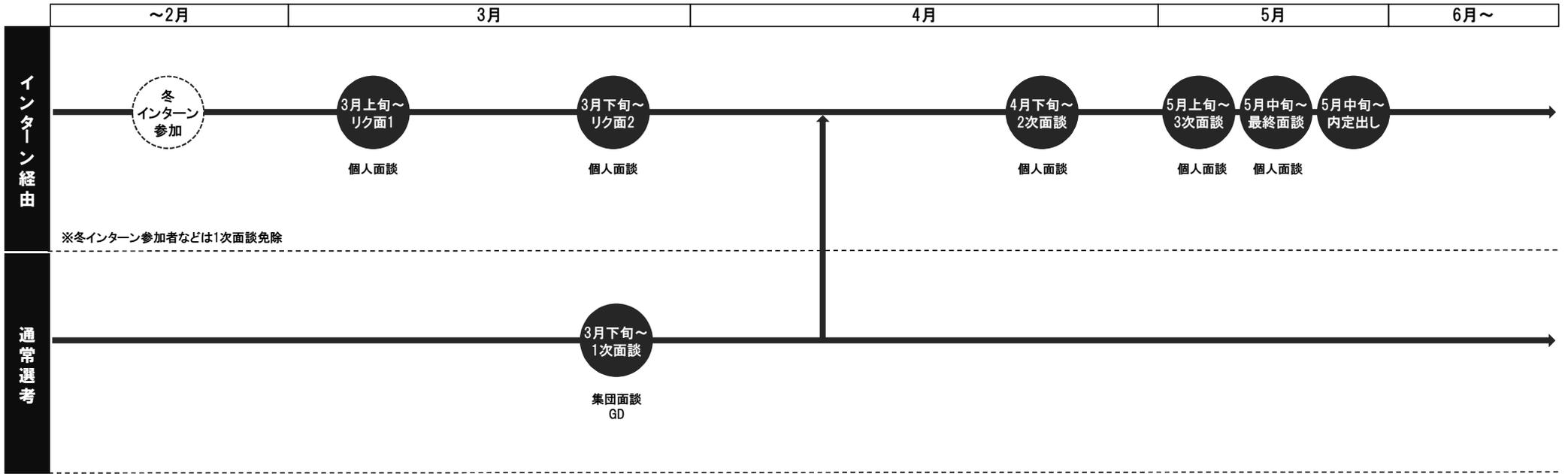
商船三井
陸上総合職(事務系)



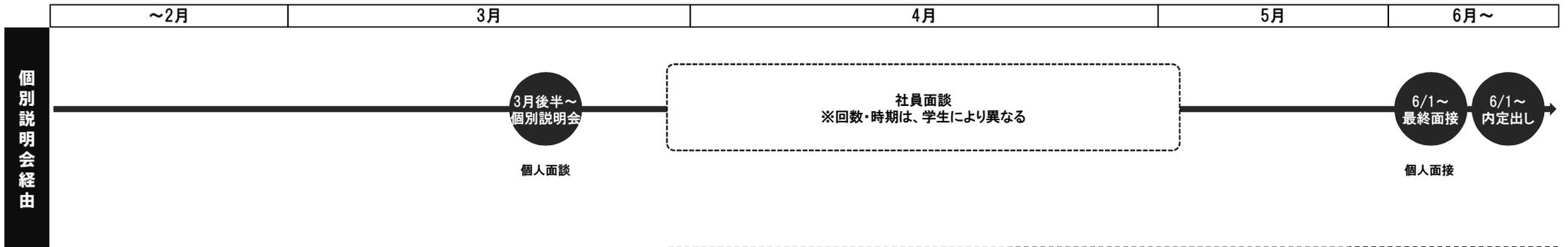
グローバルスタッフ職(事務)

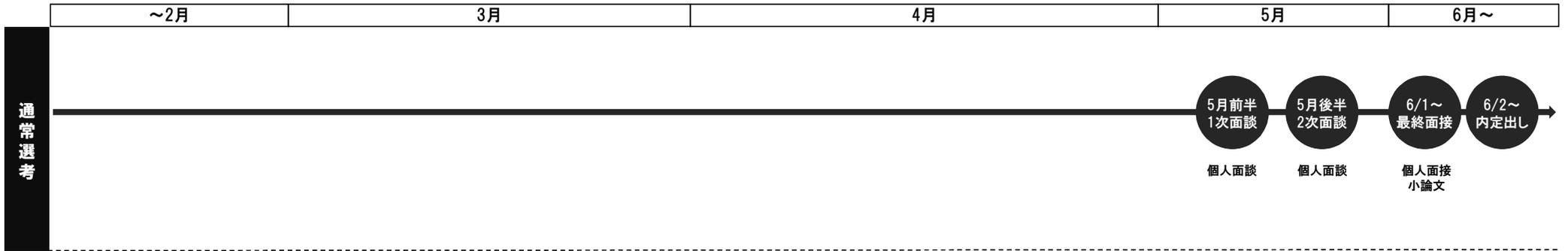


電源開発
事務系グローバル社員

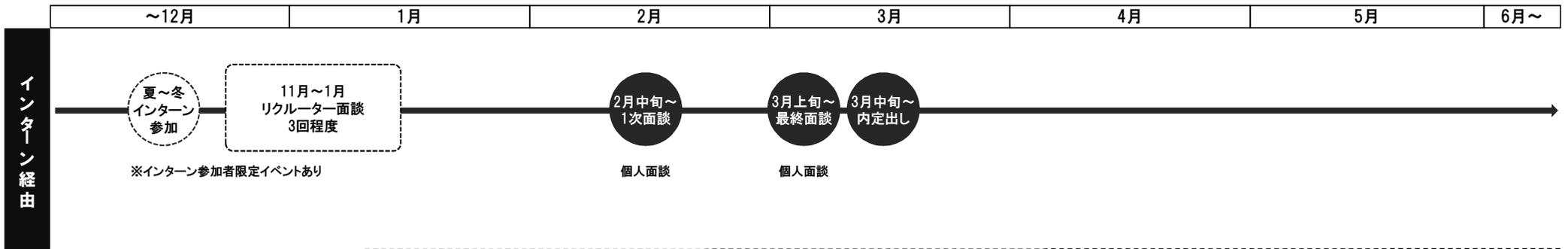


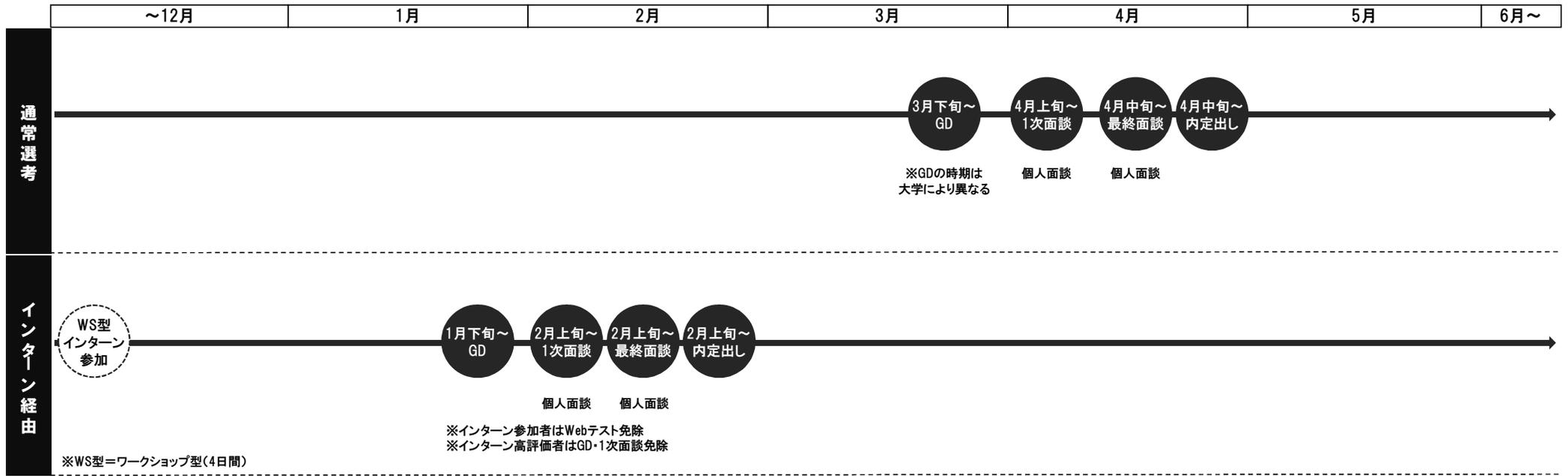
東京電力
事務系職





NTT東日本
総合職(事務系)





野村総研
経営コンサルタント職



CASE&TREND

トレンドリーダー59社の選考 2024卒版

STUDENTS'REPORT別冊

2023年8月発行

編集長 小西 亜佐子

編集員 齋藤 峻哉 植松 大葵 伊藤 想夏 木内 俊輔 持田 純

発行人 西山 亜矢子

発行 株式会社ピボット STUDENTS'REPORT編集部

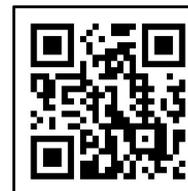
TEL : 080-3361-8481/050-3649-7671

MAIL : support@pivot-inc.co.jp

WEB : <https://www.pivot-inc.co.jp/>

©株式会社ピボット 会員以外の閲覧、無断転載、複製、複写、転送を禁じます

STUDENTS'REPORT
サービスサイト



STUDENTS'REPORT
サービスご活用例

